

# 汎用レンタルサーバ 管理者用マニュアル (ver10.2)

---

令和2年6月2日（各サイト共通）  
学術情報メディアセンター  
筑波大学

## 目次

汎用レンタルサーバの主な特徴 .....	6
管理メニューの利用方法 .....	7
1. 管理メニューインターフェイス .....	7
2. ユーザの管理 .....	8
2.1. ユーザの登録と削除 .....	9
2.1.1. ユーザの新規登録 .....	9
2.1.2. ユーザの削除 .....	9
2.2. ユーザの一括操作 .....	10
2.2.1. ユーザを一括して追加する .....	10
2.2.2. ユーザを一括して削除する .....	11
2.2.3. ユーザー一覧のダウンロード .....	11
2.3. ユーザ情報の編集 .....	12
2.3.1. ユーザの備考を変更する .....	12
2.3.2. ユーザの権限を設定する .....	12
2.3.3. ユーザのパスワードをリセットする .....	12
3. メーリングリストの管理 .....	13
3.1. メーリングリストの追加と削除 .....	14
3.1.1. メーリングリストを新たに作成する .....	14
3.1.2. メーリングリストを削除する .....	14
3.2. 個別のメーリングリストの設定 .....	15
3.2.1. メンバーを追加する .....	15
3.2.2. メンバーを削除する .....	16
3.3. その他の機能について .....	16
4. メーリングリストの管理(簡易版) .....	17
4.1. メーリングリストの追加と削除 .....	18
4.1.1. メーリングリストの新規登録 .....	18
4.1.2. メーリングリストの削除 .....	18
4.2. メーリングリストの編集 .....	19
4.2.1. 設定の変更 .....	19
4.2.2. 管理用パスワードのリセット .....	19
4.2.3. 会員の追加・削除・設定変更 .....	19
4.3. エイリアスの管理 .....	20
4.3.1. エイリアスを追加する .....	20
4.3.2. エイリアスを削除する .....	20
4.3.3. エイリアスの転送先を変更する .....	20
5. Web ページの管理 .....	21
5.1. Web データ保存先のディレクトリ構成 .....	22
5.2. Web 管理者と一般ユーザ .....	22

5.3.	サーバ全体の Web の設定 .....	23
5.3.1.	ユーザの Web コンテンツの公開設定 .....	23
5.3.2.	権限の書き換え .....	23
5.4.	ユーザ毎の Web の設定 .....	23
5.4.1.	Web 管理者の設定 .....	23
5.4.2.	Web コンテンツの公開設定 .....	23
5.5.	ディレクトリのアクセス制限 .....	24
5.5.1.	Web ユーザを追加する .....	24
5.5.2.	Web ユーザのパスワードを変更する .....	24
5.5.3.	Web ユーザを削除する .....	24
5.5.4.	対象ディレクトリを選択する .....	25
5.5.5.	ディレクトリのアクセス制限を開始する .....	25
5.5.6.	ディレクトリへのアクセス制限を設定する .....	25
5.5.7.	許可するユーザを追加・削除する .....	26
5.5.8.	ディレクトリのアクセス制限を解除する .....	26
5.6.	データを転送する .....	27
5.7.	WebDav の管理 .....	29
5.7.1.	WebDav フォルダを追加する .....	29
5.7.2.	WebDav フォルダを削除する .....	29
5.7.3.	WebDav フォルダの設定 .....	29
5.7.4.	PC から WebDAV を利用する方法 .....	30
6.	データベース (MySQL) の管理 .....	31
6.1.	DB ユーザーの管理 .....	31
6.1.1.	DB ユーザーを追加する .....	31
6.1.2.	DB ユーザーを削除する .....	32
6.1.3.	DB ユーザーにデータベースの操作権限を与える .....	32
6.2.	データベースの管理 .....	33
6.2.1.	データベースを作成する .....	33
6.2.2.	データベースを削除する .....	33
6.2.3.	データベースのバックアップを取る .....	33
6.2.4.	バックアップしたデータベースを戻す .....	33
6.3.	テーブルの管理 .....	34
6.3.1.	データベースの選択 .....	34
6.3.2.	テーブルの追加 .....	34
6.3.3.	テーブルの削除 .....	34
6.3.4.	SQL の実行 .....	34
6.4.	その他の機能について .....	34
7.	データベース (PostgreSQL) の管理 .....	35
7.1.	ログイン・ログアウト .....	35
7.2.	DB ユーザーの管理 .....	36

7.2.1.	DB ユーザーを追加する .....	36
7.2.2.	DB ユーザーを削除する .....	36
7.3.	データベースの管理 .....	37
7.3.1.	データベースを追加する .....	37
7.3.2.	データベースを削除する .....	37
7.4.	スキーマの管理 .....	38
7.4.1.	スキーマを追加する .....	38
7.4.2.	スキーマを削除する .....	38
7.5.	テーブルの管理 .....	39
7.5.1.	テーブルを追加する .....	39
7.5.2.	テーブルを削除する .....	39
7.6.	SQL 文の実行 .....	40
8.	ディスク容量の管理 .....	41
8.1.	全般の設定 .....	42
8.1.1.	新規登録時のリミット設定 .....	42
8.1.2.	通知メール設定 .....	42
8.1.3.	制限一時解除の日数設定 .....	43
8.2.	クォータの一括設定 .....	44
8.2.1.	Web リミットの一括設定 .....	44
8.2.2.	メールリミットの一括設定 .....	44
8.2.3.	csv ファイルによる設定のダウンロードと一括設定 .....	44
8.3.	超過ユーザの確認と制限の一時解除 .....	45
8.4.	全ユーザのディスク使用量の確認 .....	46
8.5.	ユーザ毎のクォータの設定 .....	46
9.	DNS の管理 .....	47
9.1.	ホスト情報の設定 .....	48
9.1.1.	ホスト情報を追加する .....	48
9.1.2.	ホスト情報を編集する .....	48
9.1.3.	ホストに別名をつける .....	49
9.1.4.	ホスト情報を削除する .....	49
9.1.5.	ホスト情報の一括登録 .....	49
9.2.	固定エントリの設定 .....	50
9.2.1.	固定エントリを追加する .....	50
9.2.2.	固定エントリを編集する .....	50
9.2.3.	固定エントリを削除する .....	50
9.2.4.	固定エントリの一括編集 .....	51
10.	管理者の設定 .....	52
10.1.	管理メニューにアクセスするためのパスワードを変更する .....	52
10.2.	サーバーからの通知メールを受け取る .....	53
10.2.1.	メールアドレスの追加 .....	53

10.2.2.	メールアドレスの変更と受け取るメールの選択.....	53
10.2.3.	メールアドレスの削除.....	53
11.	コンピュータの停止・再起動.....	54
11.1.	サーバを再起動させる .....	54
11.2.	サーバを停止させる.....	54
12.	オプションサービス関連.....	55
12.1.	バーチャルドメインサービス（VDS）の利用について .....	55
12.2.	複数ドメイン対応 DNS サーバの利用について .....	55
12.3.	カスタマイズサービスの利用について .....	55
13.	その他 .....	56
13.1.	ワンタイムパスワードの枯渇の対処方法について .....	56
13.2.	CGI の利用について.....	56
13.3.	CGI など Web アプリからのメール送信について.....	56
	お問い合わせ窓口.....	57

## 汎用レンタルサーバの主な特徴

---

### ● OS・アプリケーションの自動更新機能

配布サーバ上に置かれた未適用の更新データのチェック・ダウンロード・更新作業までを自動的に実施します。更新データの作成に当たっては、専門スタッフが開発チームのリリースやCERT 勧告を日々チェックし、OS やアプリケーションの状態を常に既知のセキュリティホールがない状態に保ちます。また、OS のバージョンアップにも対応し、継続的に利用可能な製品となっております。

### ● サーバとして必要なサービスをニーズに応じて提供

電子メール、DNS、WWW、などのサービスの中から、お客様に必要なサービスをニーズに合わせて提供します。もちろん、これらのアプリケーションについてもセキュリティ情報を日々監視、既知のセキュリティホールが無い状態に保ちます。

### ● セキュアな環境

各サービスにおいては、パスワードがネットワーク上を平文で流れるような設定を徹底的に排除しました。オンラインマニュアルに従って設定を行っていただくだけで、セキュアな通信環境を利用することが可能です。また、DNS や HTTP サーバは独立した sandbox 上で実行するなど、万が一の場合でも被害を最小限に抑えます。

### ● 利用者への注意事項とお願い

利用者側で設定したアカウントとパスワード、及び、ウェブのコンテンツ等は、利用者側で適切に管理してください。

※ 利用者が不在となって放置されたアカウントなどは適時整理してください。

※ ウェブページで CMS を利用して公開する場合は、その CMS 等に含まれるバグやセキュリティホールを悪用した攻撃による不正アクセスを防止するために、CMS やプラグイン等を常に最新の状態に維持する必要があります。一般利用者が設置した CMS 等についても同様に、放置された状態とならないように適切に管理して最新の状態で運用してください。

※ 個人情報などが不用意に流出することがないようにご注意ください。公開できないデータ等は、サーバ上で保管することをできるだけ避けて、別の手段により厳重に管理することを強く推奨します。

## 管理メニューの利用方法

### 1. 管理メニューインターフェイス

サーバシステムの管理は Web ブラウザを利用して行います。この時の操作に伴う通信は、盗聴等によってその内容が漏洩しないようにすべて SSL で暗号化されます。

◎「システム管理」メニューは、下記のページにある「システム管理」というリンクからアクセスできます。

**[https://\\*\\*\\*.\\*\\*\\*.tsukuba.ac.jp:8443/](https://***.***.tsukuba.ac.jp:8443/)**

※ 上記の[\*\*\*.\*\*\*]の部分は、利用者申請書でご指定のウェブサーバの URL で置き換えてください。

※ サイトのご要望により初期設定時などに、[:8443]の部分を[:443]に変更している場合があります。

その際は、このポート指定の部分は不要となるので、次のような URL でご利用ください。

**[https://\\*\\*\\*.\\*\\*\\*.tsukuba.ac.jp/](https://***.***.tsukuba.ac.jp/)**

※ サーバ名（メール、ウェブ等）や利用可能なサービス情報については、以下のページをご覧ください。

<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/service/server.pdf> 学内から参照可

◎「システム管理」をクリックすると次のようなログイン画面が表示されます。管理者用アカウントとパスワードを入力して、ログインします。

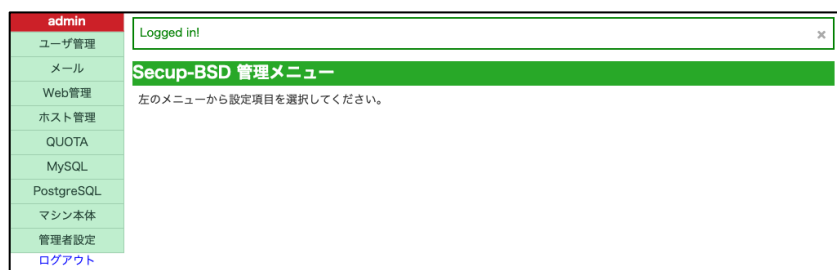


Secup-BSD管理メニュー

ユーザ名

パスワード

◎ログイン後、次のような画面が表示されます。画面左には各設定メニューへと移動するためのボタンがあります。管理者用アカウントでは、基本的に、右図のメニューの例のように、個人用アカウントのメニューが上部に表示され、システム管理者用メニューがその下に表示されます。



admin

ユーザ管理

メール

Web管理

ホスト管理

QUOTA

MySQL

PostgreSQL

マシン本体

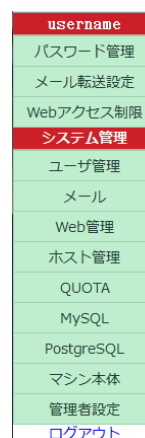
管理者設定

ログアウト

Logged in!

Secup-BSD 管理メニュー

左のメニューから設定項目を選択してください。



username

パスワード管理

メール転送設定

Webアクセス制限

システム管理

ユーザ管理

メール

Web管理

ホスト管理

QUOTA

MySQL

PostgreSQL

マシン本体

管理者設定

ログアウト

注：上の画面はサンプルです。サービスの利用状況によっては表示されないボタンがあります。

これ以降では、主に管理者用メニューについてご説明します。個人アカウントメニューについては、別冊のユーザズマニュアルをご覧ください。

<http://www.cc.tsukuba.ac.jp/wp/wp-content/uploads/UsersManual.pdf>

## 2. ユーザの管理

管理メニューで[ユーザ]ボタンをクリックすると、ユーザ管理ページが表示されます。

このページでは、ユーザの追加、削除および編集を行うことができます。

admin	ユーザ管理	一覧	一括																				
ユーザ管理	<b>ユーザの新規作成</b>																						
メール	<div>ユーザ名 <input type="text"/> 備考 <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/></div> <small>※ 備考欄には、任意のユーザ情報(所属、電話番号等)を登録できます(限不同・空欄可)</small>																						
Web管理	<b>ユーザの一覧</b>																						
ホスト管理	<a href="#">[一覧のダウンロード]</a> ユーザーの一覧をテキスト(タブ区切り)形式でダウンロードします。																						
QUOTA	<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <span>A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0-9 ALL</span>																						
MySQL	<table><thead><tr><th>管理者</th><th>UID▲▼</th><th>ユーザ名▲▼</th><th>オプション・備考</th><th>操作</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>10009</td><td>user01</td><td>[Web公開]</td><td><a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a></td></tr><tr><td></td><td>10010</td><td>user02</td><td>[Web公開]</td><td><a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a></td></tr><tr><td></td><td>10011</td><td>user03</td><td>[Web公開]</td><td><a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a></td></tr></tbody></table>			管理者	UID▲▼	ユーザ名▲▼	オプション・備考	操作		10009	user01	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>		10010	user02	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>		10011	user03	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
管理者	UID▲▼	ユーザ名▲▼	オプション・備考	操作																			
	10009	user01	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>																			
	10010	user02	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>																			
	10011	user03	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>																			
PostgreSQL																							
マシン本体																							
管理者設定																							
<a href="#">ログアウト</a>																							

- システム管理者として指定された個人用アカウントもここに表示されます。管理者用アカウントのパスワード変更をする際は、こちらに表示された管理者用アカウントのパスワードを変更してください。管理者用アカウントに指定された個人用アカウントは同一のパスワードを使用しますので、どちらも同じものに変更されます。特に管理者用のパスワードには、容易に推測されない強力なパスワードをご指定頂くことを強く推奨します。  
(英大文字、英小文字、数字、記号を混ぜたものなどがよい)



## 2.1. ユーザの登録と削除

### 2.1.1. ユーザの新規登録

ユーザを新規登録する場合、[ユーザの新規作成]という項目を利用します。[ユーザ名]欄に追加したいユーザ名を、[備考]欄にユーザの備考を入力して[追加]ボタンをクリックします。

ユーザの新規作成	
ユーザ名	備考
※ 備考欄には、任意のユーザ情報(所属、電話番号等)を登録できます(順不同・空欄可)	
<input type="button" value="追加"/>	

ユーザの追加に成功すると、ユーザ名と初期パスワードが表示されます。

作成しました. ユーザ名, パスワードは以下になります. user03,9jSkzAmsn>b4	×
---	---

- 現在のアカウント名の制約は以下の通りとなっております。
  - ✧ ユーザー名は、必ずアルファベットを先頭の文字にする。
  - ✧ ユーザー名は、3文字以上16文字以下の文字列にする。
  - ✧ ユーザー名に使える文字は、アルファベット、数字、マイナス記号(-)、およびアンダースコア記号(\_)

- ドット入りのユーザ名の登録について

2015年6月からRuby2.1対応のバージョンに更新した際にドット記号を含むユーザ名の登録ができるようになりました。ご不便をお掛けいたしました。

◎ご参考：現在のシステム管理メニューでのアカウント名の制約は以下のとおりです。

- ・ユーザー名に使える文字はアルファベット、数字、ドット記号(.)、マイナス記号(-)、およびアンダースコア記号(\_)です。
- ・ユーザー名は必ずアルファベットで始まらなければなりません。
- ・記号の繰り返し(.,\_-など)はできません。
- ・ユーザー名は3文字以上16文字以下でなければなりません。

### 2.1.2. ユーザの削除

ユーザを削除する場合、ユーザー一覧の各ユーザの右にある[削除]リンクをクリックします。確認のダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されるので、削除してよければ[OK]をクリックします。

管理者UID▲▼	ユーザ名▲▼	オプション・備考	操作
10001	user01	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
10002	user02	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
10003	user03	[Web公開]	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

## 2.2. ユーザの一括操作

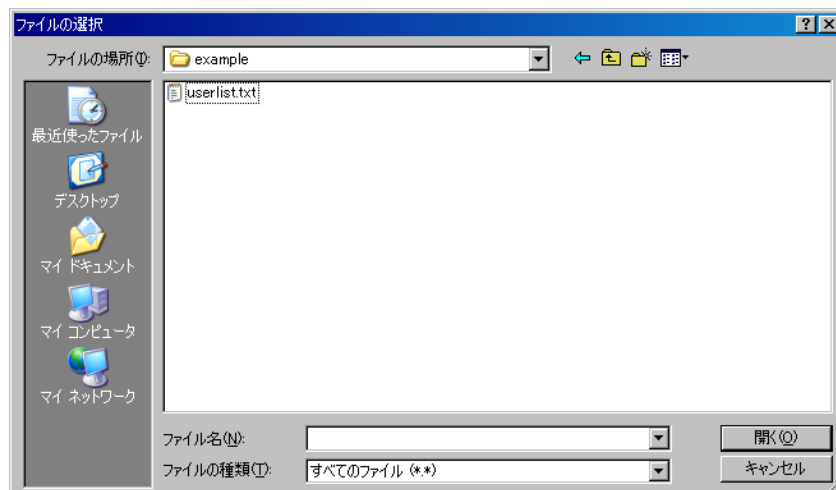
ユーザを一括して追加・削除したい場合には、[一括]タブの項目を利用します。

### 2.2.1. ユーザを一括して追加する

複数のユーザをまとめて追加する場合には、まず、以下のように1つの行に追加したいユーザ名を1つだけ書いたファイルを用意します。(ユーザ名の後ろに、[空白を入れてから備考を指定することもできます](#))

```
user1
user2
user3   学情センター A103 室 2457
...
```

次に、[ユーザの一括登録]の[参照]ボタンをクリックしてファイルの選択ダイアログボックスを表示させ、用意したファイルを選択します。



ファイルを選択すると、[ファイル選択]の欄に選択したファイルの名前が表示されるので、[送信]ボタンをクリックします。

ユーザの一括登録	
ユーザ名を列挙したファイルを準備することによって、複数のユーザを一括して登録することが出来ます。	
ファイルの各行に対象となるユーザ名を1つだけ書いて下さい。必要に応じてユーザの情報等を備考欄に登録できます(半角スペースで区切る)。	
(例) user001 学情センターA103室 2457	
ファイル選択	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="送信"/>

[送信]ボタンをクリックすると、ユーザの追加が実行されます。

ユーザの登録に成功すると、各ユーザごとにユーザ名と初期パスワードが表示されます。

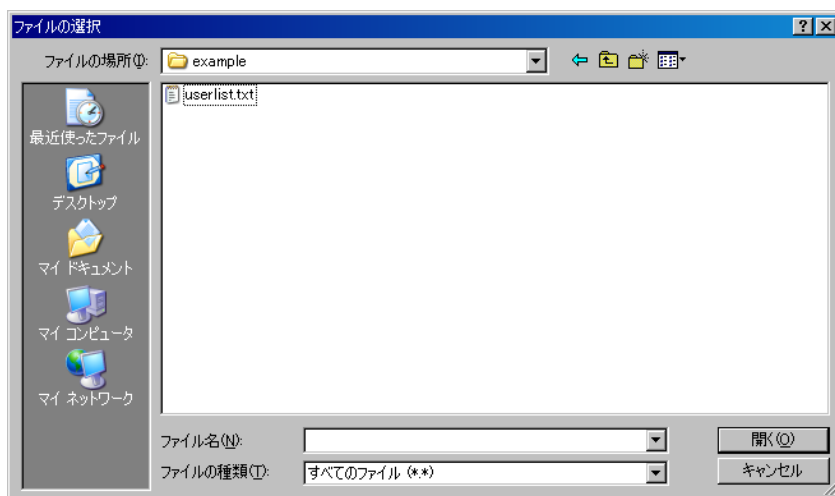
```
以下のユーザを作成しました。
f001:3Nb3nkefJqs^
f002:h[Xz4enhy8aA
f003:ahveF37cf}bX
```

### 2.2.2. ユーザを一括して削除する

複数のユーザをまとめて削除する場合には、まず、以下のように1つの行に削除したいユーザ名を1つだけ書いたファイルを用意します。

```
user1
user2
user3
...
```

次に、[ユーザの一括削除]の[参照]ボタンをクリックしてファイルの選択ダイアログボックスを表示させ、用意したファイルを選択します。



ファイルを選択すると、[ファイル選択]の欄に選択したファイルの名前が表示されるので、[送信]ボタンをクリックします。

ユーザの一括削除	
ユーザ名を列挙したファイルを準備することによって、複数のユーザを一括して削除することが出来ます。	
<b>ファイルの各行に対象となるユーザ名を1つだけ書いて下さい。</b>	
ファイル選択	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="送信"/>

[送信]ボタンをクリックすると、ユーザの削除が実行されます。

除されたユーザのメールボックスやウェブコンテンツは、/home/.old/<削除ユーザ名>という名前のディレクトリに移動されます。

### 2.2.3. ユーザー一覧のダウンロード

[一覧]タブの[ユーザー一覧]にある[一覧のダウンロード]をクリックすると、ユーザの一覧をテキスト形式でダウンロードできます。

## 2.3. ユーザ情報の編集

[ユーザー一覧]から、ユーザ毎の[編集]リンクをクリックすることで、個別のユーザ情報を編集することができます。ここでは、ユーザ管理と関連する項目について解説します。[Quota の設定]と[Web の設定]については、別項を参照ください。

### 2.3.1. ユーザの備考を変更する

ユーザの備考を変更する場合、[ユーザの備考]という項目を利用します。備考を入力して、[更新]ボタンをクリックすると、変更が反映されます。

**ユーザの備考**  
任意のユーザ情報(所属、電話番号等)を登録できます(順不同・空欄可)。

### 2.3.2. ユーザの権限を設定する

既存のユーザの中から新たに管理者を追加したい場合など、ユーザの権限の変更が必要になった際には、[ユーザの権限]という項目を利用します。

**ユーザの権限**  
管理者を選択すると、この管理画面が利用できるようになります。  
☒ 一般ユーザ  
☐ 管理者

対象ユーザの権限を[一般ユーザ]もしくは[管理者]から選択し、[更新]ボタンをクリックすることでユーザの権限を変更できます。

### 2.3.3. ユーザのパスワードをリセットする

ユーザがパスワードを忘れてしまった場合など、パスワードの再発行が必要になった際は、[パスワードのリセット]という項目を利用します。

**パスワードのリセット**  
ユーザがパスワードを忘れたなど、やむをえない場合に強制的にパスワードを再初期化します。  
**間違いを起こさないよう、よく確認の上、実行してください。**  
[パスワードのリセット](#)

パスワードをリセットするには、[パスワードのリセット]リンクをクリックします。このとき誤操作を防ぐため、確認のダイアログ(「本当にパスワードをリセットしますか?」)が表示されます。

パスワードの変更に成功すると、ユーザ名と変更されたパスワードが画面に表示されます。

パスワードをリセットしました. ユーザ名, パスワードは以下になります.  
user01,mCb@6hhnjhU3

### 3. メーリングリストの管理

Mailman を利用してメーリングリストの運用をしています。本マニュアルでは、Mailman の基本的な操作についてご説明します。詳細な情報については、以下のマニュアルや Mailman のページなどを参照してください。

#### ◆マニュアル（日本語）

- ◎ Mailman の ML 管理者向け簡易マニュアル  
<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-ml-admin-manual.pdf>
- ◎ Mailman の ML メンバー向け簡易マニュアル  
<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-ml-member-manual.pdf>
- ◎ DMARC に関するメーリングリストでの対応策  
<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mail/dmarc-with-ml-from.pdf>
  
- ◎ GNU Mailman - リスト会員の手引  
<http://docs.python.jp/contrib/mailman/mailmanmember.html>
- ◎ Mailman 関連の情報(slis)  
<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/ipc/kiban/mailman.html>
- ◎ Mailman の管理設定メモ(slis)  
<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/ipc/kiban/mailman2.html>

#### ◆Manual（English）

- ◎ mailman-ml-admin-manual-eng.pdf  
<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-ml-admin-manual-eng.pdf>
- ◎ mailman-ml-member-manual-eng.pdf  
<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-ml-member-manual-eng.pdf>
- ◎ Mailman Documentation  
<http://www.list.org/docs.html>  
<http://www.python.jp/doc/contrib/mailman/index.html>

<b>admin</b> ユーザ管理 メール Web管理 ホスト管理 QUOTA MySQL PostgreSQL マシン本体 管理者設定 ログアウト	<b>メール管理</b>			メーリングリスト	エイリアス
	<b>メーリングリストの新規作成</b>				
	リスト名 <input type="text"/> 管理者アドレス <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>				
	<b>メーリングリストの一覧</b>				
	[マスターパスワードの設定]				
	<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0-9 ALL				
	リスト名▲▼		管理アドレス		操作
	mailman(管理用)		admin@tsukuba.ac.jp		編集

### 3.1. メーリングリストの追加と削除

メーリングリストに関する設定を行う場合は、[メール]メニューにある[メーリングリスト] タブを選択します。

Mailman の簡易マニュアル等は、下記のページをご覧ください。

◎Mailman の管理者向け簡易マニュアル

<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-admin-manual.pdf>

◎Mailman の ML メンバー向け簡易マニュアル

<https://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/mailman/rental-mailman-ml-member-manual.pdf>

#### 3.1.1. メーリングリストを新たに作成する

メーリングリストを新たに追加する場合は、[新しいメーリングリストを作成する]リンクをクリックし、[メーリングリストを作成]ページに移動します。

リスト識別情報	
リストの名前:	<input type="text"/>
リスト管理者アドレスの初期設定:	<input type="text"/>
初期パスワードを自動生成しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
初期リストパスワード:	<input type="text"/>
初期パスワードの確認:	<input type="text"/>

[リスト識別情報]に入力欄が表示されるので、必要事項を記入します。ここで、[初期リストパスワード]は、作成されるメーリングリストの管理用パスワードになります。入力が完了したら画面をスクロールし、[リスト作成者の認証パスワード]に Mailman 管理用のパスワードを入力します。

リスト作成者の認証パスワード:	<input type="password"/>
<input type="button" value="リストを作成する"/>	<input type="button" value="入力を消去"/>

パスワード入力後、[リストを作成する]ボタンをクリックすることでメーリングリストが作成されます。メーリングリストの作成の完了は、リスト管理者アドレスにメールで通知されます。

#### 3.1.2. メーリングリストを削除する

メーリングリストを削除する場合は、[メーリングリスト管理リンク]ページのメーリングリスト一覧から対象とするメーリングリストをクリックし、[メーリングリスト管理]ページへ移動します。そして[このリストを削除する]ボタンをクリックして[恒久的にメーリングリストを削除]ページへと移動します。

恒久的にメーリングリスト <i>MOOI</i> を削除	
<small>このページは、リスト管理者によるメーリングリスト削除のページです。この作業はやり直しができません。このメーリングリストがすでに目的を達成し、もはや不要であると 確信している場合のみ、実行してください。</small>	
<small>また、この機能を実行しても、いかなる警告もリスト会員には送られません。つまり、今後、メーリングリスト宛のメールや、リストの管理上の申請メールなどはすべてエラーになります。</small>	
<small>メーリングリストの保存書庫も同時に削除するオプションがあります。メーリングリストの記録を保存しておくために、保存書庫を削除しないことをお勧めします。</small>	
<small>なお、安全のためにもう一度ここでリスト管理パスワードを入力していただきます。</small>	
リストのパスワード	<input type="password"/>
保存書庫も削除しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
<a href="#">取り消してリスト管理へ戻る</a>	
<input type="button" value="このリストを削除"/>	

[リストのパスワード]欄にメーリングリストのパスワードを入力し、[このリストを削除]ボタンをクリックすることで削除されます。

### 3.2. 個別のメーリングリストの設定

個々のメーリングリストの管理・設定をする場合は、[メーリングリスト管理リンク]ページのメーリングリスト一覧から対象とするメーリングリストをクリックし、[メーリングリスト管理]ページへ移動します。このとき、メーリングリストのパスワードを尋ねられるので、作成時に設定したパスワードを入力してください。

MI001 メーリングリスト管理 全体的オプション の部		
設定分類		他の管理項目
<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">[全体的オプション]</a></li><li>• <a href="#">パスワード</a></li><li>• <a href="#">言語オプション</a></li><li>• <a href="#">会員管理...</a></li><li>• <a href="#">普通配送オプション</a></li><li>• <a href="#">「まとめ読み」オプション</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">プライバシー・オプション...</a></li><li>• <a href="#">配送エラー処理</a></li><li>• <a href="#">保存書庫オプション</a></li><li>• <a href="#">メール&lt;-&gt;ニュース相互配送</a></li><li>• <a href="#">自動応答</a></li><li>• <a href="#">添付ファイル除去</a></li><li>• <a href="#">話題</a></li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">未処理の申請を処理</a></li><li>• <a href="#">リスト総合案内のページへ</a></li><li>• <a href="#">公開 HTML ページとテキストファイルを編集する</a></li><li>• <a href="#">リストの保存書庫に移動する</a></li><li>• <a href="#">このメーリングリストを削除する</a> (確認が必要です)</li><li>• <a href="#">ログアウト</a></li></ul>

[メーリングリスト管理]ページでは[設定分類]毎にそれぞれの設定ができます。ここでは、メーリングリストへのメンバーの追加・削除について解説します。

#### 3.2.1. メンバーを追加する

メーリングリストにメンバーを追加する場合には、[設定分類]から[会員管理]をクリックし、さらに[まとめて入会登録]をクリックして[まとめて入会登録]ページに移動します。

まとめて入会登録	
これらのアドレスをすぐに登録しますか? それとも招待しますか?	<input checked="" type="radio"/> 入会を申し込む <input type="radio"/> 招待
新入会員に歓迎メールを出しますか?	<input type="radio"/> いいえ <input checked="" type="radio"/> はい
リスト管理者に新規入会を通知しますか?	<input checked="" type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい
1行に1アドレスを入力...	
<div>user01@example.com user02@example.com user03@example.com user04@example.com user05@example.com</div>	

メールアドレスの入力欄があるので、追加するメンバーのメールアドレスを1行に1つずつ入力し、[変更を送信する]ボタンをクリックすることでメンバーが追加されます。

### 3.2.2. メンバーを削除する

メーリングリストからメンバーを削除する場合には、[設定分類]から[会員管理]をクリックし、[会員リスト]ページに移動します。

会員リスト

会員検索 [ヘルプ](#):

[この表の説明を表示するには、ここをクリック](#)

合計 5 名

退会	会員アドレス 会員名	制限	隠れ 会員	配送 停止 [理由]	受領	控え 無	ダブ リ無	まとめ 読み	平文	言語
<input type="checkbox"/>	<a href="#">user01@example.com</a> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">user02@example.com</a> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">user03@example.com</a> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">user04@example.com</a> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="v"/>
<input type="checkbox"/>	<a href="#">user05@example.com</a> <input type="text"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日本語 <input type="button" value="v"/>

メンバーの一覧が表示されるので、削除するメンバーの[退会]欄をチェックします。削除するメンバー全てにチェックを入れ、[変更を送信する]ボタンをクリックすることでメーリングリストからメンバーが削除されます。

### 3.3. その他の機能について

その他の機能の詳細は、Mailman のマニュアル(<http://mm.tkikuchi.net/docs.html>)を参照ください。



#### 4. メーリングリストの管理(簡易版)

管理メニューで[メール]ボタンをクリックすると、簡易版のメーリングリストの設定メニューが表示されます。

このメニューでは、Mailman の代わりに項目を絞った簡易版の設定画面でメーリングリストの管理を行うことができます。また、このメニューではメールエイリアスの設定も行うことができます。

<b>admin</b>	<b>メール管理</b>	メーリングリスト	エイリアス
ユーザ管理			
メール	<b>メーリングリストの新規作成</b>		
ホスト管理	リスト名 <input type="text"/> 管理者アドレス <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>		
Web管理	<b>メーリングリストの一覧</b>		
QUOTA	<a href="#">[マスターパスワードの設定]</a>		
MySQL	<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0-9 ALL		
マシン本体			
管理者設定			
ログアウト			
	リスト名▲▼	管理アドレス	操作
	ml001	admin@○○○○	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
	ml002	admin@○○○○	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

#### 4.1. メーリングリストの追加と削除

[メール]ページの[メーリングリスト]タブでは、メーリングリストの管理を行うことができます。

##### 4.1.1. メーリングリストの新規登録

メーリングリストを新たに追加する場合は、[メーリングリストの新規作成]という項目を使用します。入力欄にメーリングリストの名前、管理者のメールアドレスを入力して、[追加]ボタンをクリックします。

メーリングリストの新規作成		
リスト名	管理者アドレス	追加

##### 4.1.2. メーリングリストの削除

登録されたメーリングリストを削除する場合は、[メーリングリストの一覧]という項目を使用します。

メーリングリストの一覧		
[マスターパスワードの設定]		
<input type="text"/>	検索	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0-9 ALL
リスト名▲▼	管理アドレス	操作
ml001	admin@○○○○	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
ml002	admin@○○○○	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

表中の[削除]リンクをクリックすることで、その行に表示されているメーリングリストが削除されます。このとき、誤動作を防ぐために確認ダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されます。

## 4.2. メーリングリストの編集

[メーリングリスト]タブでは、各メーリングリストに対して個別の設定を行うこともできます。

### 4.2.1. 設定の変更

登録されたメーリングリストを編集する場合は、[メーリングリストの一覧]という項目を使用します。表中の[編集]リンクをクリックすることで、その行に表示されているメーリングリストの編集ページに移動します。

メーリングリストの編集	
リスト名	ml001
管理者アドレス	<input type="text" value="admin@〇〇〇〇"/>
<input type="button" value="更新"/>	
<a href="#">このメーリングリストの管理用パスワードをリセットする</a>	
<a href="#">[詳細設定]</a> 内部で利用している Mailman のすべての設定が行えます。Mailman を熟知したうえで、利用者の責任において慎重にご利用ください。	

この画面では、管理者のメールアドレスを変更できます。詳細な設定に関しては[詳細設定]をクリックし、Mailman の画面に移動して行ってください。

### 4.2.2. 管理用パスワードのリセット

メーリングリストの編集ページにある[このメーリングリストの管理用パスワードをリセットする]リンクをクリックすると、メーリングリストの管理用パスワードをリセットすることができます。このパスワードは、Mailman でメーリングリストの管理ページにログインするためのものです。

### 4.2.3. 会員の追加・削除・設定変更

メーリングリストの編集ページにある[会員の一覧]という項目から、会員の追加・削除・設定変更ができます。

会員の一覧		
メールアドレス <input type="text"/>	<input type="checkbox"/> 購読のみ	<input type="button" value="追加"/> <a href="#">[会員の一括登録]</a>
メールアドレス▲▼	購読のみ▲▼	退会
user01@example.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
user02@example.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
user03@example.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
user04@example.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
user05@example.com	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="button" value="更新"/>		

会員を追加する場合は、メールアドレスを入力して[追加]ボタンをクリックしてください。各ユーザに対して、削除したい場合は「退会」に、投稿を禁止したい場合は「購読のみ」にチェックを入れて[更新]ボタンをクリックしてください。

#### 4.3. エイリアスの管理

[メール管理]ページの[エイリアス]タブから、メールエイリアスの管理ができます。

##### 4.3.1. エイリアスを追加する

エイリアスを追加する場合、[エイリアスの新規登録]欄からエイリアスの名前と転送先メールアドレスを入力後、[追加]ボタンをクリックします。

エイリアスの新規作成		
エイリアス	転送先	<input type="button" value="追加"/>

##### 4.3.2. エイリアスを削除する

エイリアスを削除する場合、[エイリアスの一覧]から対象ユーザを選択し[削除]リンクをクリックします。

エイリアスの一覧		
エイリアス▲▼	転送先▲▼	操作
alias1	user01@example.com	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
alias2	user02@example.com	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

##### 4.3.3. エイリアスの転送先を変更する

エイリアスの転送先を変更する場合、[エイリアスの一覧]から対象ユーザを選択し[編集]リンクをクリックします。入力欄が表示されるので、転送先メールアドレスを入力後[更新]ボタンをクリックします。

エイリアス▲▼	転送先▲▼	操作
エイリアス alias1 転送先 user01@example.com		<input type="button" value="更新"/> <a href="#">キャンセル</a>
alias2	user02@example.com	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

## 5. Web ページの管理

管理メニューで[Web]ボタンをクリックすると、Web 管理ページが表示されます。

このページでは、Web 認証用のユーザの追加、削除およびパスワードの再設定を行うことができます。また、公開ディレクトリや WebDav の設定を行うことができます。

admin	<b>Web管理</b>	全般	ディレクトリ	WebDav	Webユーザ
ユーザ	<b>公開設定</b>				
メール	どのようにユーザのWebコンテンツを公開するか設定してください。				
ホスト管理	<input checked="" type="radio"/> ユーザ毎に公開/非公開を設定する				
Web管理	<input type="radio"/> すべて公開しない				
QUOTA	<input type="button" value="更新"/>				
MySQL	<b>権限の書き換え</b>				
PostgreSQL	ウェブページのファイルの書き換え権限を適切なものに修正します。				
マシン本体	<a href="#">修正実行</a>				
管理者設定					
ログアウト					

### 5.1. Web データ保存先のディレクトリ構成

サーバシステムの Web サーバで公開されるデータは以下のようなディレクトリ構成の中に集約されており、クライアントからは、右に青または緑の文字で示すような URL でアクセスできます。



### 5.2. Web 管理者と一般ユーザ

前段で示したディレクトリ構造の中でアクセス可能な範囲は、Web 管理者とその他のユーザという 2 種類で分かれています。Web 管理者として登録されたユーザは、ファイル転送において、上記ディレクトリ構造の全体にわたってアクセスすることが可能です。一方で、Web 管理者に登録されていない一般ユーザは、[ユーザ名]ディレクトリ以下にしかアクセスできないよう制限されており、ファイル転送プログラムでサーバにアクセスすると、[ユーザ名]ディレクトリがあたかもアクセス可能なトップレベルであるかのように処理されます。

Web 管理者は、サーバのメインとなるページの他、サーバの責任者として、すべての他のユーザのウェブページからファイルを削除したり、変更したりする権限が与えられますので、Web 管理者へのユーザの登録は十分に検討したうえで、本当に信頼できるユーザのみを登録するようにしてください。

### 5.3. サーバ全体の Web の設定

サーバ全体の Web に関する設定は、[Web]ページの[全般]タブから行います。

#### 5.3.1. ユーザの Web コンテンツの公開設定

サーバ全体において、どのようにユーザの Web コンテンツを公開するか設定する場合、[公開設定]という項目を使用します。[ユーザ毎に公開/非公開を設定する]もしくは[すべて公開しない]を選択し、[更新]ボタンをクリックします。個別のユーザの公開設定については後述のユーザ毎の設定を参照ください。

公開設定
どのようにユーザのWebコンテンツを公開するか設定してください。
<input checked="" type="radio"/> ユーザ毎に公開/非公開を設定する
<input type="radio"/> すべて公開しない
<input type="button" value="更新"/>

#### 5.3.2. 権限の書き換え

ファイルを書き込む権限がないというエラーが出て、ファイルがサーバにコピーできない場合は、[権限の書き換え]という項目を使用します。

権限の書き換え
ウェブページのファイルの書き換え権限を適切なものに修正します。
<a href="#">修正実行</a>

[修正実行]リンクをクリックすると書き換え権限が適切なものに変更されます。

### 5.4. ユーザ毎の Web の設定

ユーザ毎の設定は、[ユーザ管理]ページの[ユーザの編集]から行います。各ユーザの編集ページには、以下のような[Web の設定]という項目があります。

Webの設定
Web 管理者は、SFTP等で他のユーザのファイルを参照・更新できます。Web 公開すると、ユーザの public_html が公開できるようになります。
Web管理者 <input type="checkbox"/>
Web公開 <input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="更新"/>

#### 5.4.1. Web 管理者の設定

Web 管理者を設定・解除する場合、[Web の設定]にある[Web 管理者]のチェックを設定し、[更新]リンクをクリックします。

#### 5.4.2. Web コンテンツの公開設定

ユーザの Web コンテンツを公開する場合、[Web の設定]にある[Web 公開]のチェックを設定し、[更新]リンクをクリックします。全体の公開設定は、この設定より優先されます。個別のユーザの公開・非公開を設定するためには、全体の設定を[ユーザ毎に公開/非公開を設定する]に設定してください。

## 5.5. ディレクトリのアクセス制限

Web の公開ディレクトリでは、[ディレクトリ]タブと[Web ユーザ]タブを使用して、アクセスを許可するユーザの設定を行うことができます。

ディレクトリのアクセス制限には、ます。アクセス制限は次の 2 種類のユーザに対して行うことが出来ます。

- [システムユーザ]は、[ユーザ管理]ページで登録した、システムに登録されているユーザです
- [Web ユーザ]は Web のアクセス制限専用のユーザです。[Web ユーザ]タブから登録します

### 5.5.1. Web ユーザを追加する

Web ユーザを追加する場合、[Web ユーザ]タブにある[ユーザ名]欄から[直接入力]を選択しユーザ名とパスワードを入力後、[追加/変更]リンクをクリックします。

Webユーザの新規作成	
ユーザ名 <input type="text"/>	パスワード <input type="password"/> <input type="button" value="追加"/>
※ ユーザ名は3～64文字内、パスワードは3～128文字内で入力してください	

### 5.5.2. Web ユーザのパスワードを変更する

Web ユーザのパスワードを変更する場合、[Web ユーザ]タブにある[ユーザー一覧]から対象ユーザを選択し[編集]リンクをクリックします。入力欄が表示されるので、パスワードを入力後[更新]ボタンをクリックします。

ユーザ名 u001 パスワード <input type="password"/> <input type="button" value="更新"/> <input type="button" value="キャンセル"/>
---

### 5.5.3. Web ユーザを削除する

Web ユーザを削除する場合、[Web ユーザ]タブにある一覧表から対象ユーザを選択し[削除]リンクをクリックします。

Webユーザの一覧	
<input type="text"/>	<input type="button" value="検索"/> A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0-9 ALL
ユーザ名▲▼	操作
u001	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u002	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
u003	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>



#### 5.5.4. 対象ディレクトリを選択する

[ディレクトリ]タブの左ペインはディレクトリの一覧です。アクセス制御の対象とするディレクトリをクリックで選択します。

ディレクトリ毎のアクセス制限[再読み込み]

[-/www/htdocs](#)

**/www/htdocs/**

認証名 : Members only [変更](#)

許可方針 : ☐ 全登録ユーザ ☒ 個別選択 [変更](#)

許可	未許可
(なし)	u001 u002 u003

[選択ユーザを拒否](#) [選択ユーザを許可](#)

**.htaccess**

```
#GENERATED BY SECUP-BSD
AuthType Basic
AuthName "Members only"
AuthUserFile /var/db/httpd/www/.htpasswd.local
#Require user
#Require valid-user
Order allow,deny
Deny from all
SSLRequireSSL
```

[ディレクトリのアクセス制限を解除する](#)

#### 5.5.5. ディレクトリのアクセス制限を開始する

対象ディレクトリにアクセス制限が設定されていない場合、[ディレクトリ]タブの右ペインに以下のような文章が表示されます。

**/www/htdocs/**

このディレクトリの設定は上位ディレクトリに基づきます。

[このディレクトリへのアクセスを制限する\(システムユーザ\)](#)

[このディレクトリへのアクセスを制限する\(Webユーザ\)](#)

対象を選択し、[このディレクトリへのアクセスを制限する]リンクをクリックすることで、ディレクトリへのアクセス制限が開始されます。

#### 5.5.6. ディレクトリへのアクセス制限を設定する

ディレクトリへのアクセス制限に関して、次の2つの設定が出来ます。

- [認証名]は、認証ダイアログに表示されるタイトルです
  - [許可方針]は、閲覧許可の対象に関する方針です。[全登録ユーザ]と[個別選択]から選択します
- 編集完了後、[変更]リンクをクリックすることで、設定が反映されます。

**/www/htdocs/**

認証名 : Members only [変更](#)

許可方針 : ☐ 全登録ユーザ ☒ 個別選択 [変更](#)

### 5.5.7. 許可するユーザを追加・削除する

[許可方針]で[個別選択]を設定した場合、アクセスを許可するユーザを選択することが出来ます。

許可	未許可
(なし)	u001 u002 u003
<a href="#">選択ユーザを拒否</a>	<a href="#">選択ユーザを許可</a>

許可ユーザと未許可ユーザの一覧から対象ユーザを選択し、[選択ユーザを拒否]リンクまたは[選択ユーザを許可]リンクをクリックすることで、アクセスを許可するユーザを変更できます。ユーザを選択するとき、CTRL キーを押しながらクリックすることで複数ユーザを選択できます。

### 5.5.8. ディレクトリのアクセス制限を解除する

ディレクトリのアクセス制限を解除する場合は、右ペインの一番下にある[ディレクトリのアクセス制限を解除する]リンクをクリックします。

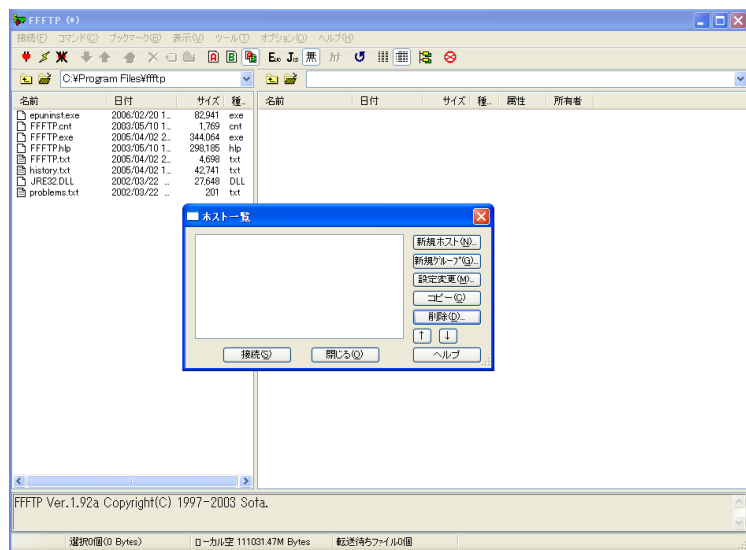
## 5.6. データを転送する

平成 27 年 8 月頃から(新)基幹ネットワークに更新した影響により、FFFTP では学外からの接続ができなくなりました。(active モードで接続可能な場合があります。) その代わりに WinSCP (SFTP モード) でアップロードすることは可能です。WinSCP や Cyberduck などの方が便利な場合があるので、下記の PDF を参考にして設定してください。

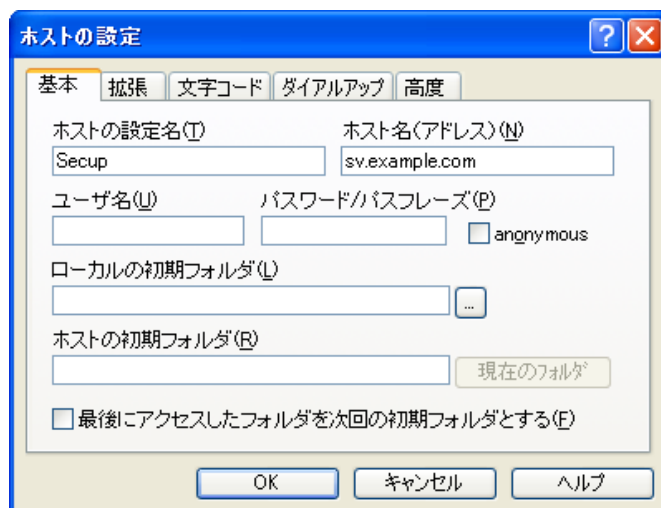
[http://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/web/web\\_contents\\_upload.pdf](http://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/web/web_contents_upload.pdf)

学内などから ftp を使ってデータを転送することは可能です。その際は、ワンタイムパスワードが利用可能な FTP クライアントソフトを使用する必要があります。ここでは、FFFTP というソフトの基本的な操作方法を説明します。FFFTP につきましては、<http://www2.biglobe.ne.jp/~sota/ffftp.html> から入手可能です。

FFFTP を起動すると、次のような画面が表示されます。

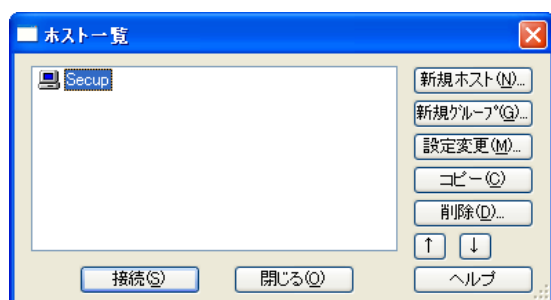


初めてサーバに接続する場合、まずサーバの登録を行います。ホスト一覧ウィンドウで[新規ホスト]ボタンをクリックすると、[ホストの設定]という画面が表示されます。

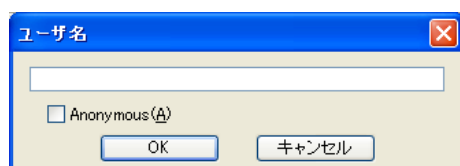


最低限必要な設定項目は、[ホストの設定名]と[ホスト名(アドレス)]です。[ホストの設定名]には、ご利用のサーバであることが分かるような任意の名前を設定し、[ホスト名]にはサーバのホスト名を設定します。設定が完了したら[OK]ボタンをクリックして、設定を登録します。

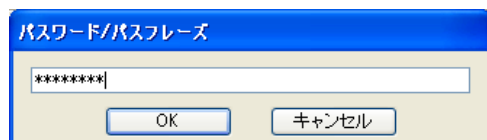
設定を行うと、[ホストの設定名]で指定した名前が[ホスト一覧]の画面に表示されます。登録したホストを選択し、[接続]ボタンをクリックするとサーバに接続することができます。



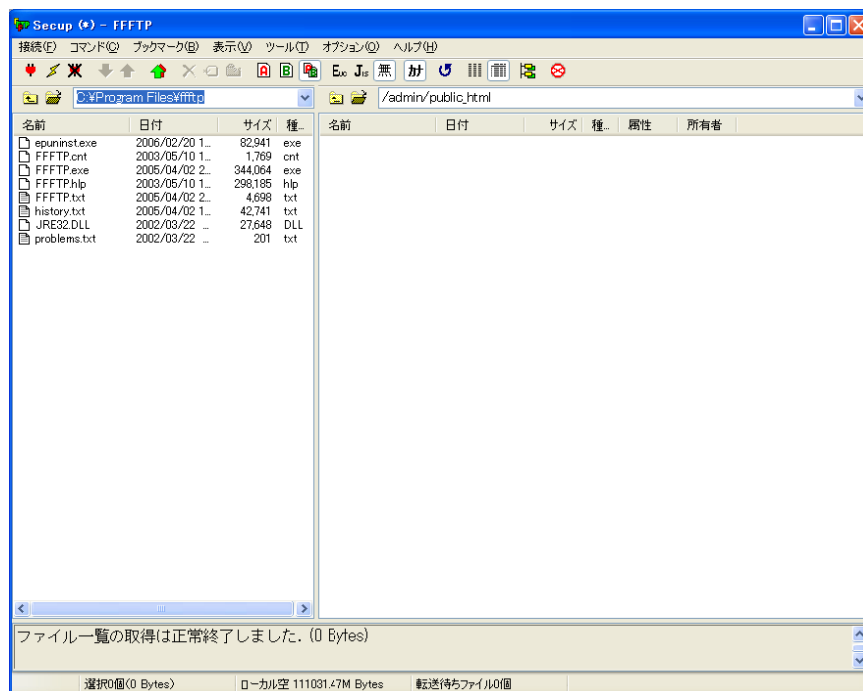
[接続]ボタンをクリックすると、まずユーザ名を聞いてくるので入力します。





次に、パスワードを聞いてくるので、入力します。



接続に成功すると、下のような画面が表示されます。



左側に自分のコンピュータにあるファイル、右側にサーバ側にあるファイルが表示されます。

左側のファイルを選択した上で、[アップロード]ボタンをクリックすると、ファイルを手元の PC からサーバに転送し、右側のファイルを選択した上で、[ダウンロード]ボタンをクリックすると、ファイルをサーバから PC に転送します。

## 5.7. WebDav の管理

[WebDav]タブを使用して、WebDav フォルダの追加と削除およびアクセスを許可するユーザの設定を行うことができます。

### 5.7.1. WebDav フォルダを追加する

WebDav フォルダを新たに追加する場合は、[WebDav フォルダの新規登録]という項目を使用します。入力欄にフォルダの名前を入力して、[追加]ボタンをクリックします。

WebDavの新規作成	
フォルダ名 <input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

### 5.7.2. WebDav フォルダを削除する

登録された WebDav フォルダを削除する場合は、[WebDav の設定]という項目を使用します。

WebDavの設定		
フォルダ名	許可	未許可
test	(なし)	u001 u002 u003
<a href="#">フォルダを削除</a>	<a href="#">選択ユーザを拒否</a>	<a href="#">選択ユーザを許可</a>

**test**  
認証名 :  [変更](#)  
許可方針 : ☐ 全登録ユーザ ☒ 個別選択 [変更](#)  
**.htaccess**

```
#GENERATED BY SECUP-BSD
AuthType Basic
AuthName "Members only"
AuthUserFile /var/db/httpd/www/.htpasswd.local
#Require user
#Require valid-user
Order allow,deny
Deny from all
SSLRequireSSL
```

[アクセス制限を解除する](#)

削除したい WebDav フォルダを選択し、[フォルダを削除]リンクをクリックすることで、WebDav フォルダを削除することができます。このとき、誤動作を防ぐために確認ダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されます。

### 5.7.3. WebDav フォルダの設定

[WebDav の設定]からは、公開ディレクトリの設定と同様にアクセスを許可するユーザ等の設定を行うことができます。詳しくは、5.5 節を参照してください。

#### 5.7.4. PC から WebDAV を利用する方法

ファイルサーバ的な利用として、WebDAV という機能があります。Windows や Mac などのパソコンでフォルダと同様の感覚で利用できます。WebDAV では、個人アカウント用の「個人スペース」と複数のユーザでデータ交換ができる「共有スペース」があります。設定に関する詳細は、下記のページをご覧ください。

(お願いとご注意)

※ WebDAV 上はファイル交換の場所とご理解ください。WebDAV 上で直接に Excel や Word 文書を開いて編集するとバックアップファイルなどのゴミデータ(ゾンビファイル)が残ってしまいます。直接にファイルを編集できなくなることもあります。基本的には、パソコンにファイルをダウンロードしてから編集してください。編集後は、必要に応じてアップロードしてご利用ください。

#### ◆WebDAV のマニュアル

<http://rose.cc.tsukuba.ac.jp/manual/>

##### ◎ 「個人用スペース」の利用について

自分のアカウントで個人専用ファイルサーバとしてご利用ください。

(登録例) [https://\\*\\*\\*.\\*\\*\\*.tsukuba.ac.jp/dav/usr01/](https://***.***.tsukuba.ac.jp/dav/usr01/)

詳しくは、上記のマニュアルをご覧ください。

##### ◎ 「共有スペース」の利用について

平成 24 年度から(新)管理メニューの提供ができるようになりました。

その新機能として、従来では、有償のオプションサービスを追加することで利用可能でしたが、新機能では、WebDAV 共有スペースの追加が管理者アカウントで自由に登録できるようになりました。

(登録例) [https://\\*\\*\\*.\\*\\*\\*.tsukuba.ac.jp/pub/共有スペース名/](https://***.***.tsukuba.ac.jp/pub/共有スペース名/)

#### ◆WebDAV を利用する際のファイル名について

ファイル名やディレクトリ名に次の記号(半角)が含まれていると、特殊記号として評価されてしまい、WebDAV 経由でのアクセスなどができなくなりますのでご注意ください。もしアクセス不能となった場合は、レンタルサーバスタッフまでお知らせください。

◎WebDAV でファイル名に指定できない文字(半角文字) ※全角記号の使用については、問題ありません。

% パーセント & アンパサンド

◎Windows でファイル名に使用できない次の記号も使用しない方が無難です。

¥ エンマーク および バックスラッシュ : コロン \* アスタリスク

? クエスチョンマーク " ダブルクォーテーションマーク > 大なり

< 小なり | パイプ

#### ◆WebDAV の反応スピードについて

Windows で WebDAV を利用していると、反応が非常に遅くなる場合があります。その際は、次の方法で解消できることがあります。

- (1) ブラウザ( Internet Explorer )を開いて、メニューバーの「ツール」で「インターネット オプション」を選択します。
- (2) 「接続」タブの下段にある「LAN の設定」ボタンをクリックします。
- (3) 「自動構成」欄にある「設定を自動的に検出する」というチェックボックスを無効(チェックマークを外す)にします。
- (4) あとは、OK ボタンで設定を保存してください。
- (5) 念のため、Windows を再起動してから、再度、WebDAV にアクセスしてみると、通常反応スピードに回復できる場合が多いです。

## 6. データベース(MySQL)の管理

※ 利用開始当初にデータベースとして PostgreSQL を選択したサイトでは、[PostgreSQL]ボタンが表示されています。その場合は、後述の「7. データベース(PostgreSQL)の管理」をご覧ください。

管理メニューで[MySQL]ボタンをクリックすると、データベース(DB)の設定メニューが表示されます。

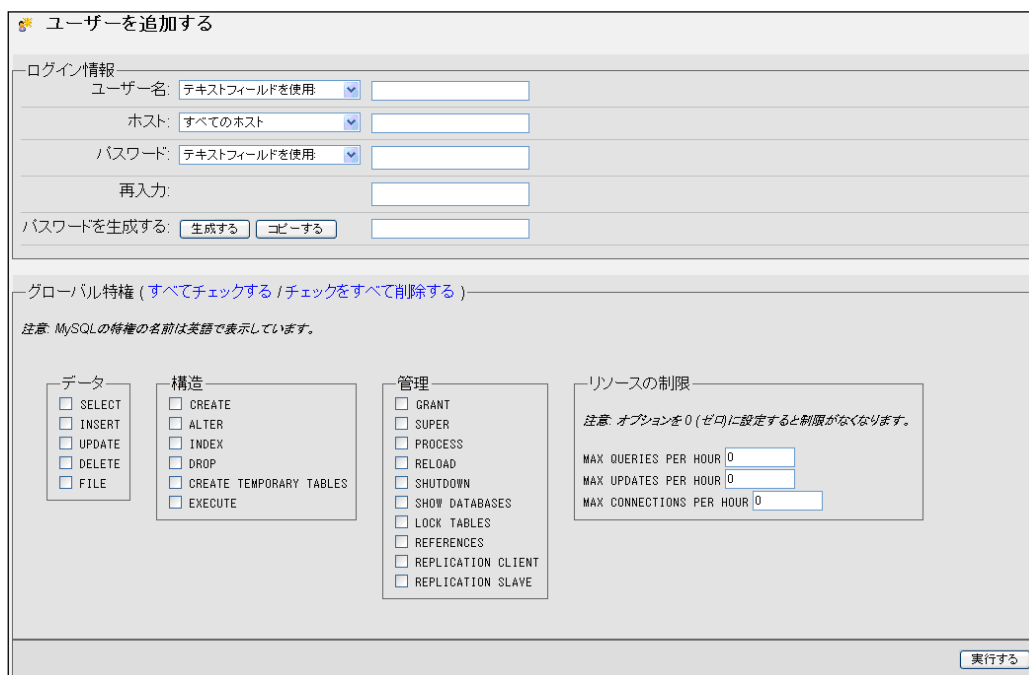
このメニューでは、DB、DB ユーザーおよびテーブルの管理を行うことができます。DB の管理には phpMyAdmin を利用しています。本マニュアルでは、基本的な操作のみ説明します。

### 6.1. DB ユーザーの管理

DB ユーザーの管理を行うには、[特権]という項目を利用します。この項目では、DB ユーザーの追加・削除およびそれぞれのユーザーに対して、データベースの操作権限の付与をすることができます。

#### 6.1.1. DB ユーザーを追加する

DB ユーザーを追加する場合は、[ユーザーを追加する]という項目をクリックします。すると以下のような画面が表示されますので、必要な情報を入力します。



The screenshot shows the 'Add User' form in a MySQL management interface. It is divided into two main sections: 'Login Information' and 'Global Privileges'. The 'Login Information' section includes fields for 'User Name', 'Host', 'Password', 'Re-enter', and a 'Generate Password' button. The 'Global Privileges' section has a header 'Global Privileges (Check all / Uncheck all)' and a note 'Note: MySQL privileges are displayed in English.' Below this are four columns of checkboxes: 'Data' (SELECT, INSERT, UPDATE, DELETE, FILE), 'Structure' (CREATE, ALTER, INDEX, DROP, CREATE TEMPORARY TABLES, EXECUTE), 'Management' (GRANT, SUPER, PROCESS, RELOAD, SHUTDOWN, SHOW DATABASES, LOCK TABLES, REFERENCES, REPLICATION CLIENT, REPLICATION SLAVE), and 'Resource Limits' (MAX QUERIES PER HOUR, MAX UPDATES PER HOUR, MAX CONNECTIONS PER HOUR). A 'Execute' button is at the bottom right.

[ユーザー名]欄には、DB にアクセスするユーザー名を入力します。このユーザー名は、サーバシステムの他の機能のユーザー名とは独立したものです。

[ホスト]欄は、アクセスを許可するホストを設定する欄ですが、サーバシステムではネットワーク経由での接続を許可しておりませんので、ここで「全てのホスト」を選択しても、リモートからのアクセスはできません。

[パスワード]欄には、上記ユーザーが DB にアクセスする際に使うパスワードを入力します。このパスワードも、他の機能のユーザーのパスワードとは独立して管理します。

「グローバル特権」では、ユーザーの標準での各コマンドの発行を許可するかどうかを設定します。

全ての入力完了したら、[実行する]ボタンをクリックすると、DB ユーザーが作成されます。

### 6.1.2. DB ユーザーを削除する

DB ユーザーを削除する場合は、削除したいユーザー名の左側にあるチェックボックスをチェックし、削除の方法を選択した後[実行する]というボタンをクリックします。

	ユーザー	ホスト	パスワード	グローバル特権	権限委譲	
<input type="checkbox"/>	すべて	%	いいえ	USAGE	いいえ	
<input type="checkbox"/>	すべて	localhost	いいえ	USAGE	いいえ	
<input type="checkbox"/>	すべて	spa.tsnr.com	いいえ	USAGE	いいえ	
<input type="checkbox"/>	admin	localhost	(はい)	ALL PRIVILEGES	(はい)	
<input type="checkbox"/>	admin_h	%	(はい)	ALL PRIVILEGES	(はい)	
<input checked="" type="checkbox"/>	admin_h	localhost	(はい)	ALL PRIVILEGES	(はい)	
<input type="checkbox"/>	hs	localhost	(はい)	USAGE	いいえ	
<input type="checkbox"/>	root	localhost	(はい)	ALL PRIVILEGES	(はい)	
<input type="checkbox"/>	sakamoto	localhost	(はい)	ALL PRIVILEGES	(はい)	

↑ [すべてチェックする](#) / [チェックをすべて削除する](#)

[ユーザーを追加する](#)

選択されたユーザーを削除します

- ☒ 特権テーブルからユーザーを即削除する
- ☐ ユーザーから有効な特権をすべて破棄して削除する
- ☐ ユーザーを削除して特権をリロードする
- ☐ ユーザーと同じ名前を持つデータベースを削除する

### 6.1.3. DB ユーザーにデータベースの操作権限を与える

DB ユーザーにデータベースの操作権限を与える場合は、以下のような対象ユーザー名の横にあるアイコンをクリックします。その後[データベース特定 特権]という項目の中にある同様のアイコンをクリックし、[実行する]というボタンをクリックすると操作権限を与えることができます。





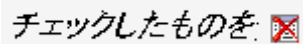
## 6.2. データベースの管理

### 6.2.1. データベースを作成する

データベースを作成する場合は、[新規データベースを作成する]という項目を利用します。作成するデータベース名をテキストボックス内に入力し、[作成]ボタンをクリックすると作成をすることができます。

### 6.2.2. データベースを削除する

データベースを削除する場合は、[データベース]という項目をクリックします。すると、データベースの一覧が表示されるので、削除したいデータベースの左側にあるチェックボックスにチェックを入れ、以下の画像の右側のアイコン部分をクリックして削除を行います。

A screenshot of a checkbox interface. On the left, the text "チェックしたものを" is displayed. To its right is a small square checkbox containing a red 'X' icon, which is used for deleting selected items.

### 6.2.3. データベースのバックアップを取る

データベースのバックアップをとる場合は、[エクスポート]という項目を利用します。

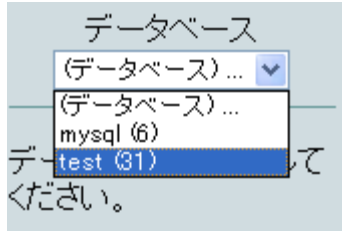
### 6.2.4. バックアップしたデータベースを戻す

バックアップしたデータベースを戻す場合は、[インポート]という項目を利用します。

### 6.3. テーブルの管理

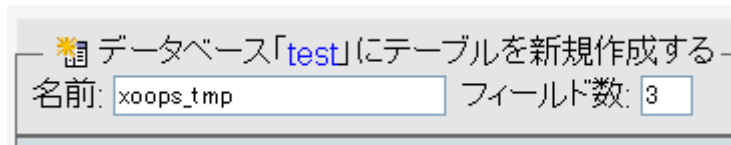
#### 6.3.1. データベースの選択

画面左のメニューにあるデータベース選択のプルダウンメニューから、管理を行うデータベースを選択します。



#### 6.3.2. テーブルの追加

データベースにテーブルを追加する場合は、[名前]欄に追加するテーブル名を入力し、[フィールド数]欄にテーブルに登録するフィールドの数を入力して、[実行する]ボタンをクリックします。



#### 6.3.3. テーブルの削除

テーブルを削除する場合は、削除するテーブル名の左側にあるチェックボックスにチェックをし、[チェックをすべて削除する]をクリックします。

#### 6.3.4. SQL の実行

SQL 文の実行を行う場合は、テーブルの管理時と同様に左側のプルダウンメニューからデータベースを選択後、タブにある[SQL]をクリックします。クリックすると、テキストフィールドが表示されるのでそこに実行する SQL 文を入力し、[実行する]ボタンをクリックします。

### 6.4. その他の機能について

その他の機能の詳細は、phpMyAdmin のマニュアル

[http://www.phpmyadmin.net/pma\\_localized\\_docs/Documentation\\_ja.html](http://www.phpmyadmin.net/pma_localized_docs/Documentation_ja.html)

を参照ください。

## 7. データベース(PostgreSQL)の管理

※ 利用開始当初にデータベースとして MySQL を選択したサイトでは、[MySQL]ボタンが表示されます。

その場合は、後述の「6. データベース(MySQL)の管理」をご覧ください。

管理メニューから[PostgreSQL]ボタンをクリックすると、データベース(DB)の設定メニューが表示されます。

このメニューでは、DB、DB ユーザーおよびテーブルの管理を行うことができます。DB の管理には phpPgAdmin を利用しています。本マニュアルでは、基本的な操作のみ説明します。

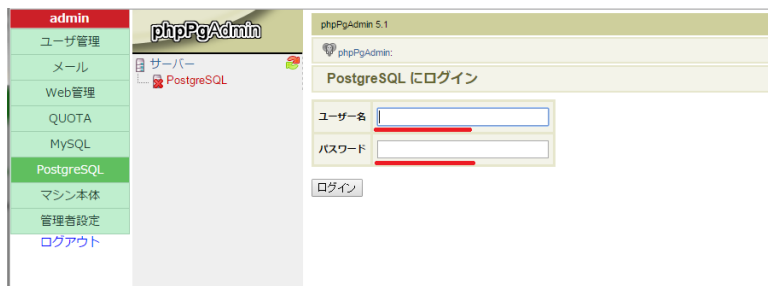
### 7.1. ログイン・ログアウト

DB の操作を行うためには、DB のユーザーとしてログインしてから作業を行う必要があります。

[PostgreSQL]ボタンをクリックすると次のような画面が表示されます。



ここで、左メニューの「PostgreSQL」というリンクをクリックすると、ログイン画面が表示されるので、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。



ログインに成功すると、以下のようなデータベースの一覧画面が表示されます。



画面右上の「ログアウト」というリンクをクリックすると、DB からログアウトします。



## 7.2. DB ユーザーの管理

DB ユーザーの管理を行うには、ログインした画面で「ユーザー一覧」というリンクをクリックします。

データベース一覧?		ユーザー一覧?		グループ一覧?		テーブル空間?		エクスポート			
ユーザー名		スーパーユーザー?		データベースを作成しますか?		有効期限		セッションデフォルト		操作一覧	
admin		はい		はい						<a href="#">変更</a> <a href="#">破棄</a>	
pgsql		はい		はい						<a href="#">変更</a> <a href="#">破棄</a>	
tsnr		はい		はい						<a href="#">変更</a> <a href="#">破棄</a>	
ユーザーを作成する											

### 7.2.1. DB ユーザーを追加する

ユーザーを追加するにはユーザーの一覧表の下にある「ユーザーを作成する」というリンクをクリックします。すると、下のような画面が表示されるので、必要事項を入力して[作成]ボタンをクリックします。

ユーザーを作成する?	
ユーザー名	<input type="text" value="test"/>
パスワード	<input type="password" value="*****"/>
確認	<input type="password" value="*****"/>
スーパーユーザー?	<input type="checkbox"/>
データベースを作成しますか?	<input type="checkbox"/>
有効期限	<input type="text"/>
<input type="button" value="作成"/>	<input type="button" value="取り消し"/>

「スーパーユーザー?」という項目にチェックを入れると追加するアカウントをスーパーユーザーにします。スーパーユーザーは全てのデータベースに対する任意の捜査を行うことが許されるユーザーですので、CGI 等からの操作用のアカウントではチェックを入れないで下さい。

「データベースを作成しますか?」という項目にチェックを入れると、追加するユーザーと同じ名前のデータベースを作成します。作成したデータベースはそのユーザー専用の DB として利用可能です。

### 7.2.2. DB ユーザーを削除する

DB ユーザーを削除するには、ユーザーの一覧で削除したいユーザーの右にある「破棄」というリンクをクリックします。

破棄?
本当にユーザー「test」を破棄しますか?
<input type="button" value="破棄"/> <input type="button" value="取り消し"/>

ユーザー名を確認して、よければ[破棄]ボタンをクリックします。

### 7.3. データベースの管理

データベースの管理を行うには、「データベース」というリンクをクリックします。



#### 7.3.1. データベースを追加する

新しいデータベースを追加するには、データベースの下にある「データベースを作成する」というリンクをクリックします。すると、下のような画面が表示されるので、名前とエンコードを入力して[作成]ボタンをクリックします。



日本語を利用する場合、エンコードは UTF8 を選択します。

#### 7.3.2. データベースを削除する

データベースを削除するには、削除したいデータベースの右にある「破棄」というリンクをクリックします。



データベース名を確認して、よければ[破棄]ボタンをクリックします。

## 7.4. スキーマの管理

データベースの一覧表で操作したいデータベースの名前をクリックすると、スキーマの一覧が表示されます。

スキーマ 一覧?	SQL?	検索	変数一覧?	プロセス 一覧?	管理	特権一覧?	エクス ポート
スキーマ所有者	操作一覧	コメント					
public	pgsql	破棄	特権一覧	変更	Standard public schema		
スキーマを作成する							

### 7.4.1. スキーマを追加する

新しいスキーマを追加するには、スキーマの一覧表の下にある「スキーマを作成する」というリンクをクリックします。すると、以下のような画面が表示されるので必要事項を入力して[作成]ボタンをクリックします。

スキーマを作成する?	
名前	tescschema
所有者	tsnr
コメント	
<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="取り消し"/>	

### 7.4.2. スキーマを削除する

スキーマを削除したい場合、削除したいスキーマの右にある「破棄」というリンクをクリックします。

破棄?
本当にスキーマ「tescschema」を破棄しますか?
<input type="checkbox"/> カスケード
<input type="button" value="破棄"/> <input type="button" value="取り消し"/>

スキーマの名前を確認し、よければ[破棄]ボタンをクリックします。

## 7.5. テーブルの管理

スキーマの一覧で操作したいスキーマの名前をクリックすると、テーブルの一覧が表示されます。初期状態では、テーブルが存在しないので、以下のような画面となります。

テーブル一覧?	ビュー一覧?	シーケンス一覧?	関数一覧?	ドメイン一覧?	特権一覧?
テーブルが見つかりません。					
<a href="#">テーブルを作成する</a>					

### 7.5.1. テーブルを追加する

新しいテーブルを作成するには、テーブルの一覧表の下にある「テーブルを作成する」というリンクをクリックします。テーブルの作成は2段階に分かれており、まずはテーブルの名前とテーブルに含まれるカラム数を入力します。

テーブルを作成する?	
名前	<input type="text" value="testtable"/>
カラムの数	<input type="text" value="3"/>
オプション	<input type="checkbox"/> WITHOUT OIDS
コメント	<input type="text"/>
<input type="button" value="次に"/> <input type="button" value="取り消し"/>	

入力が終わったら[次に]ボタンをクリックします。次に、各カラムの設定画面が表示されるので、必要事項を記入して[作成]ボタンをクリックします。

テーブルを作成する?								
カラム	データ型	長さ	NOT NULL	ユニークキー	プライマリキー	デフォルト	コメント	
1. id	SERIAL		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>			
2. name	character varying	64	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
3. age	integer		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
<input type="button" value="作成"/> <input type="button" value="取り消し"/>								

### 7.5.2. テーブルを削除する

テーブルを削除するには、テーブルの一覧表で削除したいテーブルの右にある「破棄」というリンクをクリックします。

破棄?
テーブル「testtable」を本当に破棄しますか?
<input type="checkbox"/> カスケード
<input type="button" value="破棄"/> <input type="button" value="取り消し"/>

テーブル名を確認して、よければ[破棄]ボタンをクリックします。

## 7.6. SQL 文の実行

画面右上にある「SQL」というリンクをクリックすると、下のような SQL 文入力用の画面が表示され、SQL 文を直接実行することも出来ます。

SQL ?		検索		
サーバー ?:	PostgreSQL (localhost:5432) ▼	データベース ?:	testdb ▼	
スキーマ検索パス ?:				tescschema,public
<pre>CREATE TABLE testtable2 (name varchar(64) PRIMARY KEY, height integer, weight integer);</pre>				
<input type="checkbox"/> Paginate results				
<div><span>実カラム</span> <span>実行時間</span> <span>詳細出力解析</span> <span>リセット</span></div>				

サーバー、データベース、およびスキーマ検索パスはリンクをクリックした際に開いていたページにしたがいデフォルト値が設定されます。中央下のテキストエリアに実行したい SQL 文を入力して、[実カラム]ボタンをクリックします。すると実行結果が画面に表示されます。

クエリ結果
総実行時間: 15.317 ms SQLを実行しました。 <a href="#">SQL 編集</a>

正常に終了すれば上記のような画面が表示され、エラーが発生するとその内容が表示されます。

クエリ結果
<b>SQL エラー:</b> ERROR: relation "testtable2" already exists <b>文:</b> CREATE TABLE testtable2 (name varchar(64) PRIMARY KEY, height integer, weight integer);  総実行時間: 2.122 ms SQLを実行しました。 <a href="#">SQL 編集</a>

エラー画面で「SQL 編集」というリンクをクリックすると、実行した SQL 文の編集画面を表示しますので、エラーを修正して再度実行します。



## 8. ディスク容量の管理

管理メニューから[Quota]ボタンをクリックすると、ディスク容量の管理ページが表示されます。

このページでは、現在のディスク使用量の確認と、クォータの設定および確認を行うことができます。

admin	<b>ディスク使用量制限の設定</b>	全般	一括	確認
ユーザ管理	<b>ディスク使用状況</b>			
メール	使用量 32.9G / 115G (28%)			
Web管理	メール領域使用容量 5.02G			
ホスト管理	Web領域使用容量 2.30M			
QUOTA	<b>新規登録時のリミット設定</b>			
MySQL	ユーザ登録時に適用されるリミット値を設定してください。			
PostgreSQL	ユーザに対応する時間を与えるため、ソフトリミットとハードリミットの間には十分な余裕を持たせてください。			
マシン本体	* Webソフトリミット	0.0	MB	
管理者設定	* Webハードリミット	0.0	MB	
ログアウト	* メールソフトリミット	0.0	MB	
	* メールハードリミット	0.0	MB	
	<input type="button" value="更新"/>			
	<b>通知メール設定</b>			
	リミット値を超過した際のメールによる通知の設定を行います。			
	ソフトリミット超過通知 (各ユーザ)	7	日毎	
	ハードリミット超過通知 (管理者)	<input type="button" value="通知する"/>		
	リミット超過ユーザー一覧の定期通 知(管理者)	1	日毎	
	<input type="button" value="更新"/>			
	<b>制限一時解除の日数設定</b>			
	制限を超過したユーザに対し、制限を一時解除するときの日数を設定してください。			
	解除日数	3	日	
	<input type="button" value="更新"/>			

ディスクの使用量の制限は、メール用の領域と Web ページ用の領域で個別に設定することが可能です。また、制限値として、ソフトリミットとハードリミットという 2 種類の値を設定することができ、それぞれの値は次のような意味となります。

ソフトリミット：この値を越えると、ユーザに対して設定した日数間隔で警告メールが通知されます。

この値を超えても下記のハードリミットに到達するまではユーザはディスクを使い続けることができます。

ハードリミット：この値を超えると、ユーザはそれ以上ディスクを使用できなくなります。

ハードリミットを越えると、そのアカウントでは即座にメールが受け取れなくなる、Web コンテンツを追加できなくなる、CGI 等でデータを保存できなくなる、など利用に厳しい制限がかけられますので、ソフトリミットとハードリミットの間には十分な余裕を持った設定が必要です。

## 8.1. 全般の設定

ディスク使用量制限に関する全般的な設定は、[全般]タブで行います。このタブでは、新規登録時のリミット設定、ディスク使用制限に関する通知メール設定および制限の一時解除日数の設定が行えます。

### 8.1.1. 新規登録時のリミット設定

[ユーザ管理]ページでアカウントを登録する際に適用される制限値は、[新規登録時のリミット設定]フォームを使って設定します。

新規登録時のリミット設定		
ユーザ登録時に適用されるリミット値を設定してください。		
* Webソフトリミット	<input type="text" value="0.0"/>	MB
* Webハードリミット	<input type="text" value="0.0"/>	MB
* メールソフトリミット	<input type="text" value="0.0"/>	MB
* メールハードリミット	<input type="text" value="0.0"/>	MB
<input type="button" value="更新"/>		

フォーム内には、現在の設定値が表示されています。各リミット値の内容を修正して[更新]ボタンをクリックすると、設定内容を変更することができます。

### 8.1.2. 通知メール設定

サーバシステムでは、毎日設定された制限値を超えたユーザがいないかどうかをチェックして、制限値を超えたユーザを見つけるとメールで通知します。[通知メール設定]では、そのような通知メールに関する設定を行います。

通知メール設定	
リミット値を超過した際のメールによる通知の設定を行います。	
ソフトリミット超過通知	<input type="text" value="7"/> 日毎 (各ユーザ)
ハードリミット超過通知	<input type="text" value="通知する"/>
(管理者)	
リミット超過ユーザー一覧の	<input type="text" value="1"/> 日毎 定期通知(管理者)
<input type="button" value="更新"/>	

- [ソフトリミット超過通知]では、ユーザのディスク使用量がソフトリミット値を越えた時に、ユーザに繰り返し通知する際の間隔を日数で指定します。
- [ハードリミット超過通知]では、ユーザのディスク使用量がハードリミット値を越えた時に、管理者に通知するかどうかを設定します。
- [リミット超過ユーザー一覧の定期通知]では、毎日のチェックの他に定期的に管理者向けに報告される、ソフトおよびハードリミットを超過しているユーザの一覧の通知間隔を設定します。

設定後[更新]ボタンをクリックすると、修正した内容がシステムに反映されます。

管理者宛の通知メールの受け取り先については後述する[管理者]メニューで設定します。受け取り先アドレスの設定方法については 11.2 節を参照してください。

### 8.1.3. 制限一時解除の日数設定

ユーザがハードリミット値を越えてしまい、メールの削除等の作業ができなくなった場合など、一時的にユーザのリミットを解除することができます。リミットを解除する日数を設定する場合、[制限一時解除の日数設定]という項目を使用します。

制限一時解除の日数設定	
制限を超過したユーザに対し、制限を一時解除するときの日数を設定してください。	
解除日数	<input type="text" value="3"/> ▼ 日
<input type="button" value="更新"/>	

[解除日数]を指定して[項目]ボタンをクリックすると、設定が反映されます。

## 8.2. クォータの一括設定

全ユーザに対して、一括してディスク使用量制限を設定する場合、[一括]タブを使用します。このタブでは、数値入力や csv ファイルによる Web、メールの一括制限を行うことができます。

### 8.2.1. Web リミットの一括設定

既存の全てのアカウントの Web リミット値を変更したい場合、[Web リミット一括設定]という項目を使用します。入力欄にソフト、ハードリミット値を入力し、[変更]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

Webリミット一括設定	
全ユーザのWebリミット値を一括して変更します。これまで個別に指定していたユーザのリミット値も変更されます。	
* Webソフトリミット	<input type="text"/> MB
* Webハードリミット	<input type="text"/> MB
<input type="button" value="更新"/>	

### 8.2.2. メールリミットの一括設定

既存の全てのアカウントのメールリミット値を変更したい場合、[メールリミット一括設定]という項目を使用します。入力欄にソフト、ハードリミット値を入力し、[変更]ボタンをクリックすると設定が反映されます。

メールリミット一括設定	
全ユーザのメールリミット値を一括して変更します。これまで個別に指定していたユーザのリミット値も変更されます。	
* メールソフトリミット	<input type="text"/> MB
* メールハードリミット	<input type="text"/> MB
<input type="button" value="更新"/>	

### 8.2.3. csv ファイルによる設定のダウンロードと一括設定

管理メニューでは、csv 形式のファイルを使って複数のユーザの制限値をまとめて変更することも可能です。csv ファイルは手作業で作成したものを使うことも可能ですが、[CSV のダウンロード]リンクからダウンロードしたファイルを修正して利用することもできます。

[csv ファイルのダウンロード]リンクは、[Web リミット一括設定]と[メールリミット一括設定]のそれぞれにあります。リンクをクリックするとファイルの保存ダイアログが表示されるので、ファイルを保存します。

[CSVのダウンロード] ユーザごとの Web リミット値の一覧をcsv形式でダウンロードします。

[CSVのダウンロード] ユーザごとのメールリミット値の一覧をcsv形式でダウンロードします。

次に、保存したファイルを編集します。Windows の場合、Excel が起動されます。

	A	B	C
1	mail		
2	test00	10000	12000
3	test01	1000	1000
4	test02	1000	1000
5	test03	12000	10000
6	test04	1000	1100
7	test05	110000	100000
8	test06	1000	1100
9	test07	1000	1100
10	test10	10000	15000
11	test11	20000	25000

1 行目の mail (または web) という行は制限値を設定するファイルシステムを識別するために必要ですので、消さずに残してください。2 行目以降にユーザ名、ソフトリミット、ハードリミットの現在の値が表示されているので、設定を変更したいユーザのリミット値を修正して保存します。

csv ファイルを修正して保存したら、csv ファイルのアップロードフォームを使ってリミット値を設定します。

csvファイルを使って複数のユーザの Web リミット値を一括して変更します。  
上記のリンクからダウンロードできる cvs ファイルを修正してお使いください。

参照...

送信

フォームの[参照]ボタンをクリックすると、ファイルの選択ダイアログが表示されるので、修正・保存した csv ファイルを選択します。ファイルの選択後、[更新]ボタンをクリックすると csv ファイルを使った設定処理が行われ、その結果が表示されます。

### 8.3. 超過ユーザの確認と制限の一時解除

[確認]タブでは、現在設定されている制限値を超えてディスクを使用しているユーザの一覧を見ることができます。リミットを超過しているユーザがない場合は、[確認]タブではその旨が伝えられます。

リミット超過ユーザの確認

全ユーザ

以下のユーザが設定されたリミット値を超過しています。

検索

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

0-9

ALL

UID▲▼	ユーザ名▲▼	超過種別	現在の使用量 (MB)	ソフトリミット (MB)	ハードリミット (MB)	操作
10045	user01	メール	25.1	20.0	25.0	一時解除 編集
		Web	10.4	10.0	15.0	

ユーザがハードリミット値を越えてしまい、メールの削除等の作業ができなくなった場合など、一時的にユーザのリミットを解除することができます。リミットを解除する場合、一覧表からユーザを選択し、[一時解除]リンクをクリックします。

#### 8.4. 全ユーザのディスク使用量の確認

[確認]タブでは、デフォルトで超過ユーザのみを表示しますが、右上のリンクから[全ユーザ]をクリックすると、全ユーザの表示に切り替えることができます。

全ユーザの確認						<a href="#">超過ユーザ</a>
全ユーザのディスク容量を表示しています。						
<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0-9"/> <input type="button" value="ALL"/>						
UID▲▼	ユーザ名▲▼	超過種別	現在の使用量 (MB)	ソフトリミット (MB)	ハードリミット (MB)	操作
10045	user01	メール	25.1	20.0	25.0	<a href="#">一時解除</a> <a href="#">編集</a>
		Web	10.4	10.0	15.0	
10046	user02	メール	5.4	20.0	25.0	<a href="#">編集</a>
		Web	2.3	10.0	15.0	
10047	user03	メール	3.7	20.0	25.0	<a href="#">編集</a>
		Web	9.7	10.0	15.0	

#### 8.5. ユーザ毎のクォータの設定

ユーザ毎の設定は、[ユーザ管理]ページの[ユーザの編集]から行います。各ユーザの編集ページには、以下のような[Quota の設定]という項目があります。

### Quotaの設定

ユーザが利用できるディスク領域のリミット値を設定できます。

\* Webソフトリミット  MB

\* Webハードリミット  MB

\* メールソフトリミット  MB

\* メールハードリミット  MB

フォーム内には、現在の設定値が表示されています。各リミット値の内容を修正して、[更新]ボタンをクリックすることで設定内容を変更することができます。

## 9. DNS の管理

管理メニューから[ホスト管理]ボタンをクリックすると、ホスト管理ページが表示されます。

このページでは、ホスト名の登録・変更・削除およびメールサーバの追加・削除を行うことができます。

<b>admin</b> ユーザ管理 メール Web管理 <b>ホスト管理</b> QUOTA MySQL PostgreSQL マシン本体 管理者設定 <a href="#">ログアウト</a>	<b>ホスト管理 : dom.example.com.</b>				<a href="#">ホスト情報</a>	<a href="#">固定エントリ</a>	<a href="#">ドメイン情報</a>
	<b>DNSホストの新規作成</b>						
	IPアドレス <input type="text"/> ホスト名 <input type="text"/> (オプション) ホストの別名 <input type="text"/> TTL <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/> <a href="#">一括管理</a> <small>※ホスト名にはドメイン部(dom.example.com.)を除いた名前を入力して下さい ※別名は空白区切りで複数入力できます</small>						
	<b>DNSホストの一覧</b>						
<input type="text"/> <input type="button" value="検索"/> <a href="#">A</a> <a href="#">B</a> <a href="#">C</a> <a href="#">D</a> <a href="#">E</a> <a href="#">F</a> <a href="#">G</a> <a href="#">H</a> <a href="#">I</a> <a href="#">J</a> <a href="#">K</a> <a href="#">L</a> <a href="#">M</a> <a href="#">N</a> <a href="#">O</a> <a href="#">P</a> <a href="#">Q</a> <a href="#">R</a> <a href="#">S</a> <a href="#">T</a> <a href="#">U</a> <a href="#">V</a> <a href="#">W</a> <a href="#">X</a> <a href="#">Y</a> <a href="#">Z</a> <a href="#">0-9</a> <a href="#">ALL</a>							
IPアドレス▲▼		ホスト名▲▼		ホストの別名		TTL	操作
192.168.0.1		sv					<a href="#">編集</a>

ホスト管理では、以下の3つの機能があります。

- (1) ホスト情報： DNSサーバのドメイン名が管理するIPアドレスに関する正引きと逆引きの設定  
(登録したホスト名の逆引きも自動的に登録されます。)
- (2) 固定エントリ： 主に(1)で登録対象外となる各種レコード登録  
(Aレコードの逆引きは登録対象外です。)
- (3) ドメイン情報： DNSサーバが管理するドメイン名に関する各種情報の表示  
(ドメイン名に対するTTL値、MX、TXT、SPFレコードは、ここで登録できます。)

## 9.1. ホスト情報の設定

ホスト情報に関する設定を行う場合は、[ホスト情報]というタブを利用します。

このタブでは、ホスト情報の登録・変更・削除を行うことができます。

ドメイン名が管理する IP アドレスに対するホスト名(A レコード)と別名(CNAME)、及びその TTL 値の設定ができます。ここで登録したホスト名については、正引きと逆引きが設定されます。

### 9.1.1. ホスト情報を追加する

ホスト情報を新たに追加する場合は、[ホストの新規作成]という項目を使用します。入力欄に IP アドレス、ホスト名を入力して、[追加]ボタンをクリックします。

DNSホストの新規作成			
IPアドレス	<input type="text"/>	ホスト名	<input type="text"/>
(オプション) ホストの別名	<input type="text"/>	TTL	<input type="text"/>
<small>※ホスト名にはドメイン部(dom.example.com.)を除いた名前を入力して下さい ※別名は空白区切りで複数入力できます</small>			
			<input type="button" value="追加"/> <a href="#">一括管理</a>

### 9.1.2. ホスト情報を編集する

登録されたホスト情報を編集する場合は、[ホスト一覧]という項目を使用します。

DNSホストの一覧				
<input type="text"/>	<input type="button" value="検索"/>	<input type="button" value="A"/> <input type="button" value="B"/> <input type="button" value="C"/> <input type="button" value="D"/> <input type="button" value="E"/> <input type="button" value="F"/> <input type="button" value="G"/> <input type="button" value="H"/> <input type="button" value="I"/> <input type="button" value="J"/> <input type="button" value="K"/> <input type="button" value="L"/> <input type="button" value="M"/> <input type="button" value="N"/> <input type="button" value="O"/> <input type="button" value="P"/> <input type="button" value="Q"/> <input type="button" value="R"/> <input type="button" value="S"/> <input type="button" value="T"/> <input type="button" value="U"/> <input type="button" value="V"/> <input type="button" value="W"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="Y"/> <input type="button" value="Z"/> <input type="button" value="0-9"/> <input type="button" value="ALL"/>		
IPアドレス▲▼	ホスト名▲▼	ホストの別名	TTL	操作
192.168.0.1	sv			<a href="#">編集</a>

表中の編集したいホストの[編集]リンクをクリックし、[ホスト情報の編集]ページに移動します。

ホスト情報の編集	
* IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.222"/>
* ホスト名	<input type="text" value="sample"/>
<input type="button" value="更新"/>	

入力欄に、IP アドレス、ホスト名を入力し、[更新]ボタンをクリックします。



### 9.1.3. ホストに別名をつける

ホストには、別名と呼ばれるものをつけることができます。別名をつけることによって複数のホスト名で、同一のホストにアクセスすることができます。たとえば、`host01` という名前のホストに対して、`host02`、`host03` という名前をつけた場合、ユーザが `host02` または `host03` にアクセスした時でも、実際には `host01` にアクセスするように設定することができます。

ホストに別名を付ける場合は、[ホスト一覧]という項目を使用します。前項と同様に[ホスト情報の編集]ページに移動し、この中の[ホストの別名]の項目で、ホストの別名の編集ができます。別名を追加する場合、入力欄に別名を入力し、[追加]ボタンをクリックします。別名を削除する場合、表中の削除したい別名の[削除]リンクをクリックします。

ホストの別名 <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>	
<small>※ホスト名にはドメイン部(dev.tsnr.com.)を除いた名前を入力して下さい ※別名は空白区切りで複数入力できます</small>	
ホストの別名 ▲▼	操作
host02	<a href="#">削除</a>

### 9.1.4. ホスト情報を削除する

ホスト情報を削除する場合は、[ホスト一覧]という項目を使用します。表中の削除したいホストの[編集]リンクをクリックすることで、設定情報が削除されます。このとき、誤動作を防ぐために確認ダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されます。

### 9.1.5. ホスト情報の一括登録

複数のホストを新たに追加する場合は、[ホストの新規作成]欄の[一括登録]というリンクから、一括登録画面に移動します。一括登録では、まず以下のような<IP アドレス> <ホスト名> [ <ホストの別名> ... ]という形式のリストを記述したファイルを準備します。

192.168.0.5	echo
192.168.0.6	foxtrot
192.168.0.7	golf
192.168.0.8	hotel

次に[ファイル選択]と書かれた部分にある[参照]ボタンをクリックします。すると、ファイルを選択するための画面が表示されるので用意しておいたファイルを選択し、[送信]ボタンをクリックします。

## 9.2. 固定エントリの設定

固定エントリに関する設定を行う場合は、[固定エントリ]というタブを利用します。このタブでは、MX レコード・NS レコード・A レコード・CNAME レコード・TXT および SPF レコードの登録・変更・削除を行うことができます。

固定エントリで登録したホスト名(A レコード)には、正引きは登録されますが、逆引きは設定されませんので、ご注意ください。

### 9.2.1. 固定エントリを追加する

固定エントリを新たに追加する場合は、[新規作成]リンクから新規作成画面へと移動します。ここで[種別]を選択すると入力欄が表示されるので、必要事項を記入して[追加]ボタンをクリックします。

固定エントリの作成	
* 名前	<input type="text" value="mx01"/>
* 種別	<input type="text" value="MX"/>
優先度	<input type="text" value="10"/>
メールサーバ	<input type="text" value="mx.example.org."/>
<input type="button" value="追加"/>	

### 9.2.2. 固定エントリを編集する

登録された固定エントリを編集する場合は、[DNS レコードの一覧]という項目を使用します。

DNSレコードの一覧				
新規作成 <a href="#">[一括編集]</a>				
ホスト名	クラス	種別	設定値	操作
mx01	IN	MX	10 mx.example.org.	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
ns01	IN	NS	ns.example.org.	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>

表中の編集したい固定エントリの[編集]リンクをクリックし、[固定エントリの編集]ページに移動します。追加時と同様に必要事項を記入して[更新]ボタンをクリックします。

### 9.2.3. 固定エントリを削除する

固定エントリを削除する場合は、[DNS レコードの一覧]から、表中の削除したい固定エントリの[削除]リンクをクリックします。このとき、誤動作を防ぐために確認ダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されます。

#### 9.2.4. 固定エントリの一括編集

固定エントリを一括で編集する場合は、[一括編集]リンクから一括編集ページに移動します。固定エントリの情報を入力し、[更新]ボタンをクリックすると、全ての情報が反映されます。

固定エントリの一括編集

固定エントリを一行にひとつずつ記述してください。A, CNAME, MX, NSレコードが登録可能です。

subdomain IN NS nameserver.subdomain.example.org.

subdomain IN MX 10 mailserver.subdomain.example.org.

例:

mx01 IN MX 10 mx.example.org.

ns01 IN NS ns.example.org.

更新

## 10. 管理者の設定

管理メニューから[管理者設定]ボタンをクリックすると、管理者の設定ページが表示されます。このページでは、管理者のパスワードの変更およびサーバからの通知メールの宛先の追加・削除を行うことができます。

<b>admin</b>	<b>管理者・連絡先設定</b>	連絡先	管理者																								
ユーザ管理	連絡用メールアドレスの新規作成																										
メール	メールアドレス <input type="text"/> <input type="button" value="追加"/>																										
Web管理	連絡用メールアドレスの一覧																										
ホスト管理	* サ(サポートから) / p(postmaster宛) / w(webmaster宛) / ク(クォータ) / 転(転送エラー) / 他(その他)																										
QUOTA	メールアドレス																										
MySQL	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>サ</th><th>p</th><th>w</th><th>ク</th><th>転</th><th>他</th><th>操作</th></tr></thead><tbody><tr><td>user01@example.com</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td><td>✓</td><td></td><td>✓</td><td><a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a></td></tr><tr><td>user02@example.com</td><td></td><td></td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td><td></td><td><a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a></td></tr></tbody></table>				サ	p	w	ク	転	他	操作	user01@example.com	✓		✓	✓		✓	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>	user02@example.com			✓	✓	✓		<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
	サ	p	w	ク	転	他	操作																				
user01@example.com	✓		✓	✓		✓	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>																				
user02@example.com			✓	✓	✓		<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>																				
PostgreSQL	チェックが1つもない項目は、'その他'がチェックされたアドレスに配送されます。																										
マシン本体																											
管理者設定																											
<a href="#">ログアウト</a>																											

### 10.1. 管理メニューにアクセスするためのパスワードを変更する

管理者のパスワードを変更する場合は、[管理者]タブにある[認証用パスワードの変更]という項目を利用します。[新しいパスワード]と[新しいパスワード(確認用)]という欄に新しいパスワードを入力し、[更新]ボタンをクリックします。

<b>認証用パスワードの変更</b>	
管理者用のパスワードを変更します。	
* 現在のパスワード	<input type="password"/>
* 新しいパスワード	<input type="password"/>
* 新しいパスワード(確認)	<input type="password"/>
<input type="button" value="更新"/>	

## 10.2. サーバーからの通知メールを受け取る

サーバーから送信された通知メールを受け取るメールアドレスを設定する場合は、[連絡先]タブを利用します。このタブでは、連絡用メールアドレスの追加・削除および受け取るメールの選択を行うことができます。

### 10.2.1. メールアドレスの追加

連絡用メールアドレスを追加する場合は、[連絡用メールアドレスの新規作成]という項目を使用します。入力欄にメールアドレスを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

連絡用メールアドレスの新規作成	
メールアドレス <input type="text"/>	<input type="button" value="追加"/>

### 10.2.2. メールアドレスの変更と受け取るメールの選択

登録したメールアドレスを変更したり、受け取る通知メールの種類を選択したりする場合は、[連絡用メールアドレス一覧]という項目を使用します。

連絡用メールアドレスの一覧							
* サ(サポートから) / p(postmaster宛) / w(webmaster宛) / ク(クォータ) / 転(転送エラー) / 他(その他)							
メールアドレス	サ	p	w	ク	転	他	操作
user01@example.com	✓		✓	✓		✓	<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
user02@example.com			✓	✓	✓		<a href="#">編集</a> <a href="#">削除</a>
チェックが1つもない項目は、'その他'がチェックされたアドレスに配送されます。							

表中に各ユーザ毎にある[編集]リンクをクリックし、[連絡用メールアドレスの編集]ページに移動します。

連絡用メールアドレスの編集	
* メールアドレス	<input type="text" value="user01@example.com"/>
サポートから	<input checked="" type="checkbox"/>
postmaster宛	<input type="checkbox"/>
webmaster宛	<input checked="" type="checkbox"/>
クォータ	<input checked="" type="checkbox"/>
転送エラー	<input type="checkbox"/>
その他	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="button" value="更新"/>	
<a href="#">一覧に戻る</a>	

[メールアドレス]欄を編集することでメールアドレスの変更ができ、またチェックボックスを変更することで通知メールの種類を設定できます。編集が完了したら、[更新]ボタンをクリックします。

※ 「その他」にチェックマークを付けたメールアドレスには、システム管理メニューの「メール」タブで登録した Mailman の ML 管理者宛への通知メール等が送信されます。この通知メールは重要な連絡事項も送信されます。システム管理者の方のメールアドレスには、「その他」にチェックマークを付けておくことを強く推奨します。

### 10.2.3. メールアドレスの削除

通知メールを受け取るメールアドレスを削除する場合は、前節と同じく[連絡用メールアドレス一覧]という項目を使用します。表中に各ユーザ毎にある[削除]リンクをクリックすると、対象となるメールアドレスが削除されます。このとき、誤操作を防ぐため、確認ダイアログ(「本当に削除しますか?」)が表示されます。

## 11. コンピュータの停止・再起動

管理メニューから[マシン本体]ボタンをクリックすると、本体管理ページが表示されます。

このページでは、コンピュータ(サーバ本体)の停止・再起動を行うことができます。

admin	マシン本体
ユーザ	
メール	
ホスト管理	コンピュータの再起動・停止
Web管理	
QUOTA	
MySQL	
PostgreSQL	
マシン本体	
管理者設定	
ログアウト	

**再起動**：コンピュータを再起動します。  
再起動後は、操作可能となるまで数分程度かかります。

**停止**：コンピュータを停止します。  
コンピュータを停止した場合、遠隔再起動はできません。  
物理的にコンピュータの電源を入れなおす必要があります。  
十分に確認の上、実行してください。

### 11.1. サーバを再起動させる

サーバを再起動させる場合は、[再起動]リンクをクリックします。

(サーバの再起動には多少時間がかかります。)

### 11.2. サーバを停止させる

サーバを停止させる場合は、[停止]ボタンをクリックします。

## 12. オプションサービス関連

ご利用中の基本サービスに、下記のオプションサービスを追加できます。

### 12.1. バーチャルドメインサービス (VDS) の利用について

バーチャルドメインサービス (VDS) では、サーバの URL とは別の URL でウェブページを追加できます。

VDS 管理用アカウントを一つ作成（既存アカウントでも可）して、そのアカウントでコンテンツの更新・管理ができます。ドキュメントルートは、次のとおりです。

◎バーチャルドメインサービス用ドキュメントルート： /VDS 管理用アカウント名/htdocs

（例）/VDS 管理用アカウント名/htdocs/index.html は、以下のように参照できます。

`http://??? . ??? . tsukuba. ac. jp/index.html`

➤ バーチャルドメイン用の連絡用メールアドレス（webmaster や postmaster など）は用意できません。

外部からの連絡・苦情等の受付メールアドレスをコンテンツ内（できればトップページ）に掲載して頂くようお願いいたします。

※ バーチャルドメインサービスでは、VDS 管理用アカウント以外での一般アカウントの登録・利用はできません。

### 12.2. 複数ドメイン対応 DNS サーバの利用について

基本サービスで提供する DNS 機能とは別のドメインを DNS サーバとして運用する場合は、オプションサービスの「複数ドメイン対応 DNS サーバ」を追加することにより別ドメインを管理することができます。なお、ドメイン追加の際に逆引き登録するための IP アドレス空間が必要となります。詳しくは担当までお問い合わせください。

### 12.3. カスタマイズサービスの利用について

基本サービスや既存のオプションサービスでは対応できないご要望でも、カスタマイズサービスとして対応可能な場合がございます。まずはご要望を伺いして、対応可能な場合は見積もり額を提示します。見積もり内容を確認して頂き、ご検討の上ご依頼ください。

## 13. その他

### 13.1. ワンタイムパスワードの枯渇の対処方法について

アカウント登録時やパスワード変更の際、ワンタイムパスワード(OTP)も大量に生成されます。生成されたワンタイムパスワードはファイル転送などで毎回使い捨てて利用しているため比較的に安全に利用できます。その反面、しばらくすると OTP を使い切ってしまうことがあり、一時的に ftp 接続できない状態になります。その際は、前述の個人用設定メニューのページでパスワード変更するとワンタイムパスワードも大量に再生成され ftp 接続も再度利用可能になります。

※ 同じパスワードに変更してもワンタイムパスワードは生成できます。

### 13.2. CGI の利用について

ウェブサーバでは CGI を実行することも可能です。スクリプト言語として Perl と Ruby をサポートしています。

◎Perl スクリプトを使用する場合、CGI の最初の行は次のように記述します。

```
#!/usr/local/bin/perl
```

◎Ruby スクリプトを使用する場合は次のように記述します。

```
#!/usr/local/bin/ruby
```

### 13.3. CGI など Web アプリからのメール送信について

レンタルサーバではこれまで CGI 等の Web アプリからのメール送信について、SMTP で localhost に接続して行うようお願いして参りましたが、今回、新たに ssmtp というメール転送エージェントを導入して、コマンド実行によるメールの送信にも対応いたしました。これにより、sendmail コマンドの代わりに ssmtp コマンドを指定することによって、CGI からメールを送信できるようになります。CGI 等で指定するコマンドのパスは、次のとおりです。

```
/usr/local/sbin/ssmtp
```

PHP をご利用の場合、 `send_mail/sb_send_mail` といった関数を利用してのメールの送信も可能となります。Drupal や WordPress 等の CMS をご利用の場合、上記の ssmtp コマンドを指定する方法によってもメール送信が可能となります。

➤ ssmtp については以下の URL をご参照ください。

<http://packages.debian.org/stable/mail/ssmtp>

➤ 従来の方法 ( smtp 25 番ポートに smtp 接続してメールの送信) には影響は無いので、今までの方法でもそのまま利用できます。ssmtp を利用すると、メールの送信に中間処理を 1 つ余分に挟むことになります。従いまして、基本的には smtp 25 番ポートへ接続する方法を引き続き推奨いたします。



## お問い合わせ窓口

---

筑波大学 学術情報メディアセンター 汎用レンタルサーバ 担当

Tel : 029-853-2457

Fax : 029-853-6950

Mail(通常の連絡): [hosting-service@cc.tsukuba.ac.jp](mailto:hosting-service@cc.tsukuba.ac.jp)

Mail(緊急の連絡): [rental-support@cc.tsukuba.ac.jp](mailto:rental-support@cc.tsukuba.ac.jp)

受付時間 : 平日 8時30分～17時15分

※ 夜間・休日・祝祭日などのご連絡は、電子メールでお知らせください。